

2 柱ごとの施策・取組

政策の柱1 スポーツで輝く

目指す政策効果

- スポーツに親しむ機会が増え、あらゆる人にとってスポーツが身近なものになる
- 自らの状況・レベルに合ったスポーツを楽しみ、いつまでも健康で幸福に過ごすことができる

施策



施策

① スポーツに触れる「はじめの一步」を後押し

- ▶ スポーツをすることへの関心喚起、スポーツを始める機会の創出・提供



施策

② ライフステージに応じたスポーツを推進

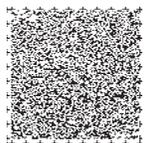
- ▶ 子供のスポーツ振興、働き盛り世代のスポーツ振興、高齢者のスポーツ振興



施策

③ 東京にゆかりのあるアスリートが躍動

- ▶ アスリートの競技力向上に向けた取組



達成指標

スポーツを通じて幸福感を感じている
都民（18歳以上）の割合



都民（18歳以上）のスポーツ実施率



スポーツをすることを
「好き」「やや好き」と感じる中学2年生の割合



東京都スポーツ推進企業認定企業数





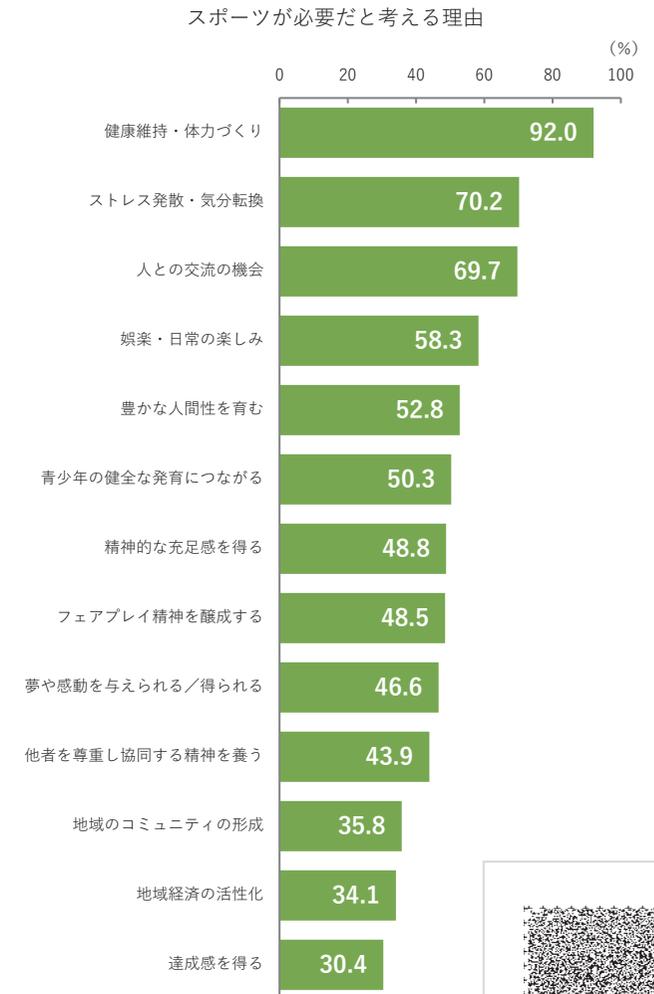
施策①

スポーツに触れる 「はじめての一步」を 後押し

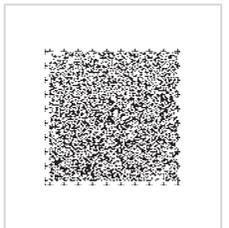
現状と課題

スポーツを行う意義は多岐にわたる

令和6（2024）年に実施した「都民のスポーツ活動に関する実態調査」によると、スポーツが必要だと考える理由として、「健康維持・体力づくりになるため」（92.0%）との回答だけでなく、「ストレス発散・気分転換になるため」（70.2%）、「人との交流の機会になるため」（69.7%）、「娯楽・日常の楽しみであるため」（58.3%）との回答も多くあり、人々がスポーツを行う意義は身体面での健康だけではなく、多岐にわたると言えます。



図表出典：「令和6年度 都民のスポーツ活動に関する実態調査」（2025年3月、生活文化スポーツ局）を基に作成



2 柱ごとの施策・取組

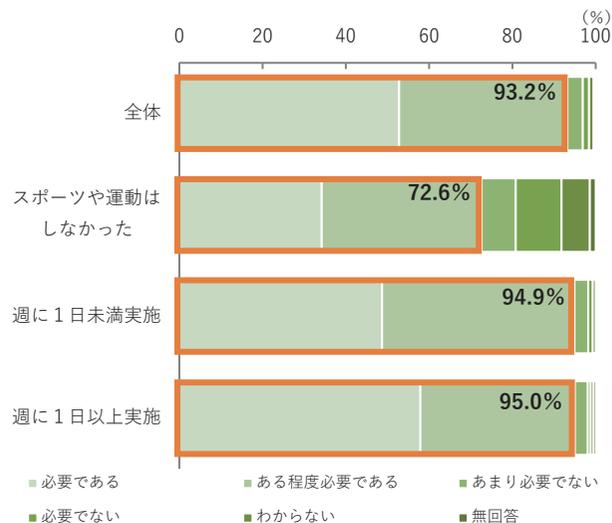
政策の柱1 スポーツで輝く

現状と課題

スポーツ未実施層へのアプローチ

令和6（2024）年に実施した「都民のスポーツ活動に関する実態調査」によると、**93.2%の人が、スポーツについて、「必要である」「ある程度必要である」と回答しています。スポーツ未実施者でも72.6%が、スポーツについて、「必要である」「ある程度必要である」と考えており、スポーツを必要だと感じていても何らかの要因で実施できていない層に対し、「する・みる・支える・応援する」それぞれの視点でのアプローチが必要です。**

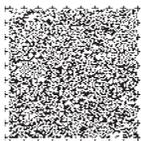
スポーツに対する意識（スポーツ・運動の実施頻度別）



図表出典：「令和6年度 都民のスポーツ活動に関する実態調査」（2025年3月、生活文化スポーツ局）を基に作成

今後の方向性

- 都民のスポーツへの関心を高めるため、効果的に情報発信を行っていきます。また、観客とアスリートが一体となってスポーツを盛り上げられるよう、適切な応援の仕方や観戦マナーについても、普及啓発を進めていきます。
- スポーツを始める機会を創出・提供するために、多様なスポーツイベントを開催するほか、区市町村の取組を後押ししていきます。



施策① スポーツに触れる「はじめの一歩」を後押し

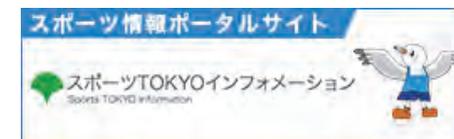
具体的な取組

▶ 都民へのスポーツに関する情報発信

スポーツTOKYOインフォメーションの運営

東京都のスポーツ情報サイト「スポーツTOKYOインフォメーション」を通じて、都内で実施されるスポーツイベント、大会観戦・応援情報、スポーツ施設に関する情報や行政情報などを発信し、多くの人々にスポーツへの関心を高めてもらいます。

▶ 関連ページ P.133,165,220,243



スポーツ案内サイト「SPOPITA」の運営

スポーツの裾野拡大や実施率の向上に向けて、スポーツに関する情報を案内サイト「SPOPITA（スポピタ）」でワンストップで提供します。

また、公民含めた3,000を超える都内のスポーツ施設について、検索の利便性の向上や、各施設情報・予約方法等の紹介により、施設を利用しやすい環境を整備していきます。

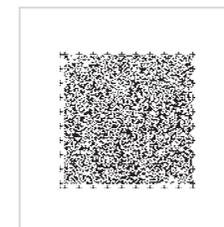
▶ 関連ページ P.227



パラスポーツ専門ポータルサイトTOKYOパラスポーツ・ナビの運営

障害のある人やパラスポーツを支える人を対象に、都内のパラスポーツイベント情報や、公共スポーツ施設のバリアフリー情報等を発信するパラスポーツ専門ポータルサイト「TOKYOパラスポーツ・ナビ」を運営します。

▶ 関連ページ P.133,165,220



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱1 スポーツで輝く

施策① スポーツに触れる「はじめの一步」を後押し

▶ 都民へのスポーツに関する情報発信

パラスポーツスタートガイドの運営

様々なスポーツの魅力や、競技ルール等を分かりやすく伝えるとともに、アスリートや支えるスタッフのインタビューを掲載するなど、競技スポーツを始める上で役立つ情報を提供する専用ウェブサイトを経営します。

▶ 関連ページ P.176

パラスポーツ普及啓発プロジェクト「TEAM BEYOND」

東京2020パラリンピックで高まったパラスポーツへの関心や応援の気運を更に高め、レガシーとして未来につないでいくため、パラスポーツのファンやサポーターを増やし、パラスポーツが社会に根付いていくよう、SNS等を活用した情報発信や体験会の開催を行うなど、パラスポーツを身近に感じてもらうための総合的なプロジェクトを展開します。

▶ 関連ページ P.131,165,168,169,205,220,221,244

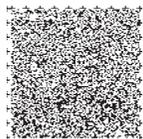
TOKYOパラスポーツチャンネルの配信

都内やその近郊で開催される全国又は国際レベルのパラスポーツ大会をケーブルテレビ等で実況・解説付きで中継・配信し、競技を初めて観る人でも楽しく観戦できる機会を提供します。

▶ 関連ページ P.168,221

TOKYOユニバーサルウォーキング普及事業

障害当事者等の意見も聞きながら都内各地域で選定してきたバリアフリーに配慮したウォーキングコースについて、多くの人に利用いただけるよう普及を図ります。あわせて、アプリを活用したキャンペーンを実施し、ウォーキングの継続的な実施につなげていきます。



▶ 関連ページ P.172,216,281



▶スポーツに関する調査

都民のスポーツ活動に関する実態調査

都民のスポーツ活動の実態を把握し、今後の東京都におけるスポーツ振興のための方向性や施策の検討に活用していきます。

障害者のスポーツに関する意識調査

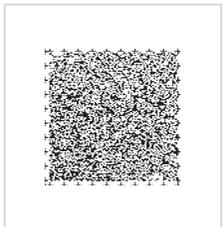
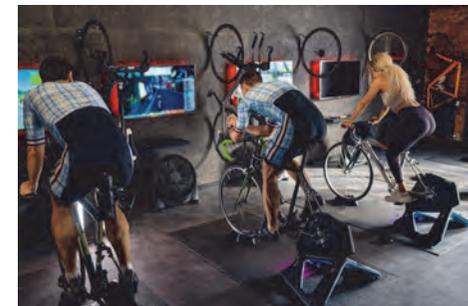
障害のある人のスポーツ活動に関する意識や実態を把握し、今後のパラスポーツ振興に資する施策展開の基礎資料として活用します。

▶関連ページ

P.166

eスポーツの活用に関する調査・検証

東京都のスポーツ振興におけるeスポーツの活用に関する課題等の調査・分析、大会の視察による事例収集、専門家等への意見聴取を行うとともに、トライアルとして、競技団体と連携したバーチャルスポーツ体験会等を実施するなど、効果を検証していきます。



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱1 スポーツで輝く

施策① スポーツに触れる「はじめての一步」を後押し

▶スポーツを通じた健康増進

スポーツを通じた健康増進事業

様々な機会を通じて都民が気軽にスポーツに取り組むきっかけを提供し、継続的なスポーツ実施につなげていきます。また、都民の体力データ等を活用し、身体活動等の状況が健康に及ぼす影響を見える化することにより、都民の健康への関心を高め、健康増進に貢献していきます。

▶関連ページ P.148,188

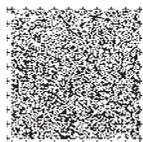
健康的な生活習慣に関する普及啓発

日常生活において、負担感なく生活習慣病の予防や生活習慣の改善が行えるよう、健康づくりポータルサイト「とうきょう健康ステーション」等により適切な身体活動・運動等について普及啓発を行うほか、都内のウォーキングマップを集約したポータルサイトの充実を図るなど、都民の生涯を通じた健康づくりを推進していきます。

また、生活習慣病の予防に向けて運動を始めるきっかけになることが期待される特定健康診査・特定保健指導の実施率向上に努めます。



東京スポーツドック



▶多様なスポーツイベントの開催

スポーツの日記念イベントの開催

スポーツの場を東京の至る所に拡げることを目的に、誰もが気軽に参加できるスポーツイベントを開催します。

▶関連ページ P.206,285



スポーツフェスタ2024

ウォーキングイベントの開催

都内の名所を巡る「TOKYOウォーク」をはじめ、大腸がん検診普及のための「Tokyo健康ウォーク」、水道水源等への理解を深める「玉川上水ウォーキング」など様々な切り口で、楽しみながら都内を歩くことのきっかけを創出していきます。

▶関連ページ P.206,285



TOKYOウォーク2024

プロスポーツチーム等との連携

スポーツの楽しさやスポーツを始めるきっかけを醸成するため、プロスポーツチーム等と連携し、東京都とプロスポーツチーム等の双方の強みを生かした事業を実施します。

▶関連ページ P.207,243



サッカー体験会

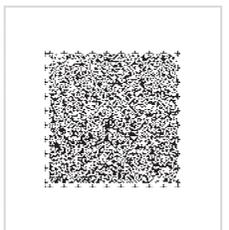
パラスポーツ普及啓発プロジェクト「TEAM BEYOND」

次代を担う子供たちが、楽しみながらパラスポーツの魅力を体感できるイベント「BEYOND STADIUM」を開催します。イベントでは、障害のある人とない人がパラスポーツの真剣勝負を通じて交流し、相互理解につなげるためのボッチャ大会も実施します。

▶関連ページ P.128,165,168,169,205,220,221,244



BEYOND STADIUM



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱1 スポーツで輝く

施策① スポーツに触れる「はじめての一步」を後押し

▶ 多様なスポーツイベントの開催

チャレスポ! TOKYOの開催

障害のある人にスポーツの楽しさや効用を知ってもらい、スポーツを始めるきっかけを提供するとともに、障害のある人となない人がスポーツを通じて相互に交流する機会を創出し、理解と共感を深めてもらうために、参加体験型のスポーツイベントを開催します。

▶ 関連ページ P.169

東京2020大会レガシー継承事業

JOC、JPC及び競技団体と連携して、東京2020大会のレガシーを着実に継承するためのイベントを開催します。

▶ 関連ページ P.206

都立スポーツ施設を活用したスポーツイベント等の展開

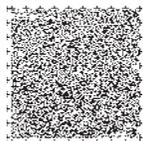
多様な特性を持つ都立スポーツ施設の強みと各施設管理者のノウハウを最大限生かし、スポーツ振興のための様々なイベントやアクティビティ等について、多様なメニューを展開し、スポーツを通じた都民のウェルビーイングの向上に貢献していきます。

▶ 関連ページ P.208,224

多彩なスポーツの取組を通じた交流機会の提供

スポーツと多様な分野（音楽、食事など）を掛け合わせたバラエティに富んだ取組やスポーツ観戦、社会参加の情報発信等を通じてスポーツを楽しんでもらえるよう、地域や関係団体等と連携し、検討していきます。

▶ 関連ページ P.189,208



チャレスポ! TOKYO



東京2020大会メモリアルデーイベント



東京体育館での車いすバスケットボール体験会

▶区市町村が実施するスポーツイベント等への支援

スポーツイベントの情報発信

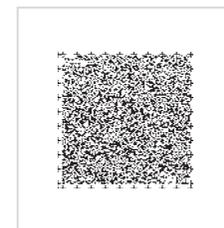
東京都のスポーツ情報サイト「スポーツTOKYOインフォメーション」や「TOKYOパラスポーツ・ナビ」において区市町村が実施するスポーツイベントについても広く情報を発信していきます。

▶関連ページ P.127,165,220,243

区市町村スポーツ推進補助事業

急速な高齢化やデジタル化等、スポーツを取り巻く環境が変化する中、誰もがスポーツを「楽しみ」、スポーツを行う「人」が輝くスポーツ振興を実現するため、身近な場でスポーツができる環境の拡大やパラスポーツの普及など区市町村が実施するスポーツ振興事業に対して補助を行います。

▶関連ページ P.166,189,203,214,277



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱1 スポーツで輝く

施策① スポーツに触れる「はじめての一步」を後押し

▶地域の中で運動を楽しむ機会を提供

障害児・者の運動習慣定着支援事業

障害のある人が日中に滞在している福祉施設や放課後等デイサービスなどに指導者を派遣し、利用者の障害種別や程度等に応じた運動プログラムを定期的を実施することで、身体を動かすことの習慣化を図ります。

さらに、福祉施設等の近隣の体育館等でも運動プログラムを実施することで、地域の中で日常的に運動を楽しむきっかけを提供します。

▶関連ページ P.141,172,215,282



福祉施設内での運動プログラムの実施

パラスポーツ地域サポート事業

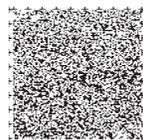
パラスポーツ事業のノウハウを持つアドバイザーが、区市町村や地域スポーツクラブ等を訪問し、事業の企画・実施を支援するほか、指導者等のコーディネートや用具の貸与を通じて、身近な地域でスポーツを楽しめる環境づくりを図ります。

また、区市町村間で現状の取組状況や課題についての意見交換、スポーツと医療・福祉等の他分野との連携事例の共有を行うパラスポーツ地域ブロック関係者連絡会議を実施します。

▶関連ページ P.170,214,282



パラスポーツ用具の貸出し



都内公立学校体育施設の開放

学校教育活動に支障のない範囲で、都立学校の体育施設を広く開放し、都民のスポーツ活動の振興に資するとともに、地域に開かれた学校づくりを促進していきます。

なお、公立小・中学校の開放については、設置者である区市町村が、各教育委員会の判断の下、実施していきます。

▶ 関連ページ P.227

障害者のスポーツ施設利用促進事業

障害のある人が身近な地域のスポーツ施設をより安全で快適に利用できるようにするため、区市町村や民間のスポーツ施設において、施設管理者が配慮すべきポイントを掲載した「障害者のスポーツ施設利用促進マニュアル」の活用を促進します。

また、区市町村スポーツ施設に対して、パラスポーツの専門知識を有するアドバイザーを派遣し、施設のニーズや状況に合わせて、障害のある人のスポーツ施設の利用促進に向けた支援を実施します。

▶ 関連ページ P.171,216,229,281

都立特別支援学校活用促進事業

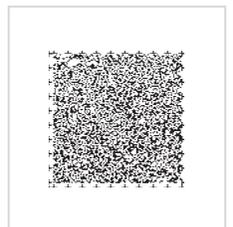
障害のある人や障害者スポーツ団体等が身近な地域でスポーツ活動ができるよう、都立特別支援学校の体育施設をパラスポーツの拠点の一つと位置付け、学校教育活動に支障のない範囲で開放し、活用を促進します。

また、事業実施校において、障害の有無にかかわらず誰もが参加できるパラスポーツやスポーツ・レクリエーションの体験教室を実施します。

▶ 関連ページ P.141,171,215,229,281



体験教室（聴覚障害者卓球）



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱1 スポーツで輝く

施策① スポーツに触れる「はじめての一步」を後押し

▶地域の中で運動を楽しむ機会を提供

都立公園のスポーツ施設における利用時間及び利用日の拡大

都立公園のスポーツ施設において、都民の利用機会の向上を図るため、年末利用日を拡大するとともに、通年の夜間利用の実施を継続していきます。

▶関連ページ P.228

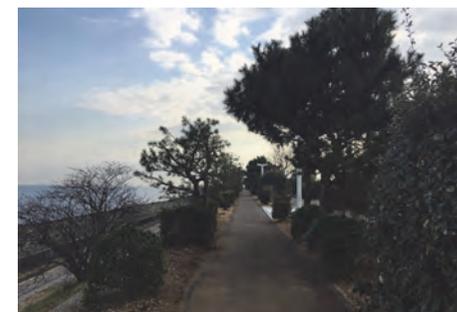


都立公園のスポーツ施設における利用時間の拡大

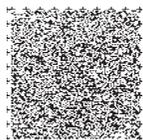
ウォーキング環境の整備

河川沿いの通路整備や隅田川テラスにおけるウォークアブルな水辺空間の創出を図るとともに、海上公園内にウォーキングルート等を整備し、仕事帰りや休日にスポーツを楽しむことができる環境を整備していきます。

▶関連ページ P.228



新木場緑道公園





施策②

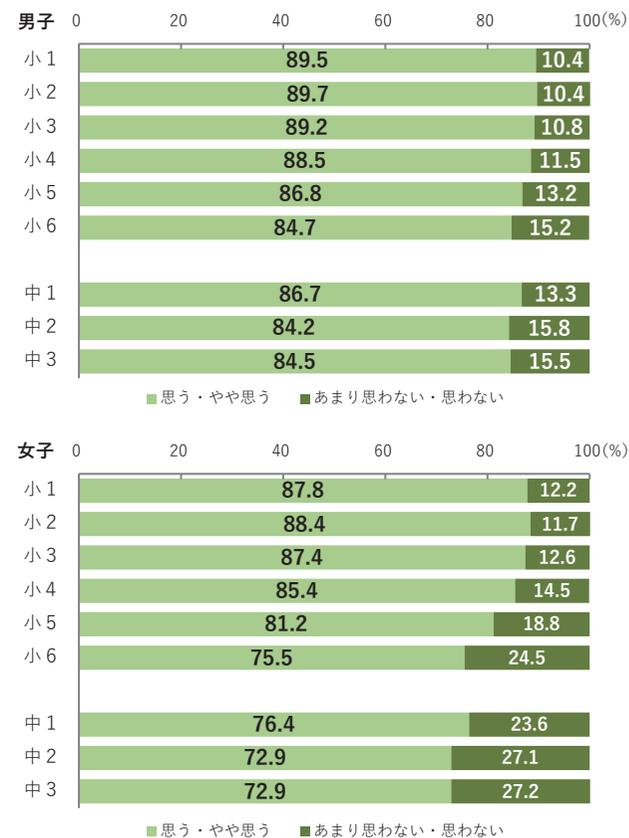
ライフステージに応じたスポーツを推進

現状と課題

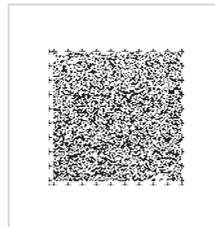
学年進行とともに低下するスポーツへの意欲

令和6（2024）年に東京都教育委員会が実施した「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」によると、**授業以外でも運動やスポーツをもっとしたいと思う子供の割合は学年進行とともに低下傾向**にあり、学年が上がり、**大人になってもスポーツが好きでいられるよう、子供のスポーツ振興を推進する必要があります。**

授業以外でも運動やスポーツをもっとしたいと思いますか



図表出典：「令和6年度 東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査 報告書」（2025年3月、東京都教育委員会）を基に作成



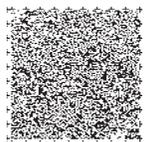
2 柱ごとの施策・取組

政策の柱1 スポーツで輝く

現状と課題

ライフステージによって異なる課題やニーズ

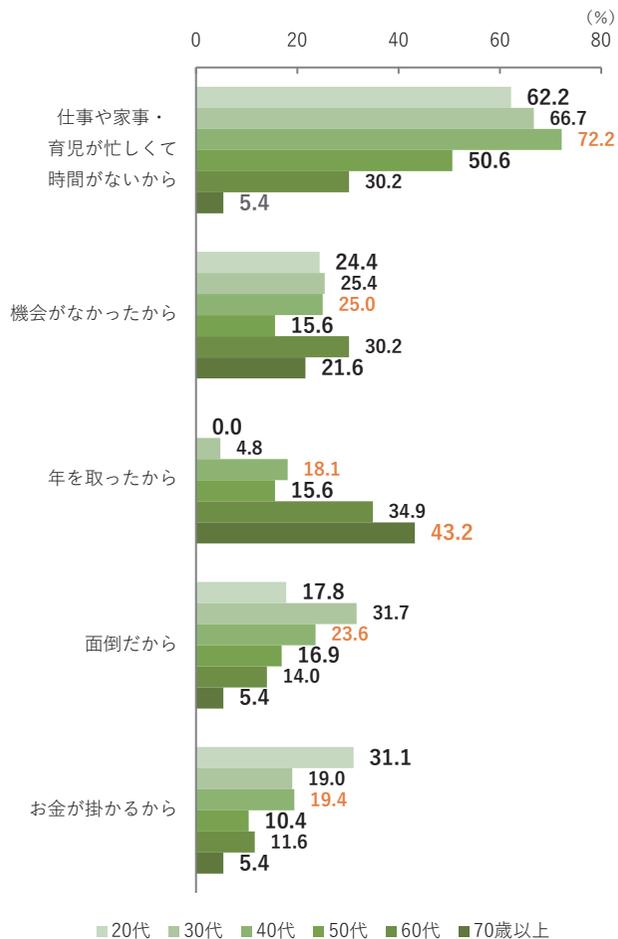
令和6（2024）年に実施した「都民のスポーツ活動に関する実態調査」によると、スポーツや運動を実施した頻度が週1日未満だった理由は、「**仕事や家事・育児が忙しくて時間がないから**」（40代：72.2%）、「**年を取ったから**」（70歳以上：43.2%）と**個人の状況や年代によって様々であり、ライフステージによって異なる課題やニーズを細かく捉える必要があります。**



今後の方向性

- 子供、働き盛り世代、高齢者といった**様々な世代のそれぞれのニーズを的確に捉え、生涯にわたってスポーツが楽しめるよう、きめ細かく施策を展開していきます。**

スポーツを実施した頻度が週1日に満たなかった理由



図表出典：「令和6年度 都民のスポーツ活動に関する実態調査」（2025年3月、生活文化スポーツ局）を基に作成

施策② ライフステージに応じたスポーツを推進

具体的な取組

▶子供たちがスポーツに親しみ、楽しむきっかけの提供

TOKYOジュニアスポーツアンバサダー

多様な競技に取り組むジュニア選手の世界での活躍の後押しや、同世代の子供たちにおけるスポーツ気運の醸成のため、国際スポーツ大会へ出場するジュニア選手をアンバサダーに任命し、競技の魅力や国際大会での経験を発信していきます。



TOKYOジュニアスポーツアンバサダー任命式

東京都地域スポーツクラブサポートネットによる情報提供

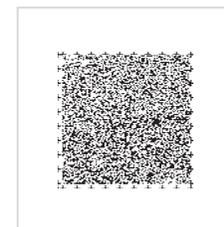
(公財)東京都スポーツ協会(TSPO)が運営している「東京都地域スポーツクラブサポートネット」において、地域スポーツクラブの設立及び活動を支援するための情報を提供するとともに、地域スポーツクラブについて詳しく知りたい方や、クラブに参加したい方に都内クラブの情報を提供していきます。



▶関連ページ P.212,239

保護者のフィジカルリテラシーの涵養

幼児期からの運動習慣を形成するため、「基礎的な運動神経等を養う遊び」や「運動がもたらす効果」等を、乳幼児の保護者が集まる場所などで、一体的に普及・啓発していきます。



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱1 スポーツで輝く

施策② ライフステージに応じたスポーツを推進

▶子供たちがスポーツに親しみ、楽しむきっかけの提供

幼児期の外遊び習慣づくり

遊びとしての魅力を高める工夫と、運動習慣の定着を目的に、親子で一緒に楽しめる運動・スポーツの紹介や体験イベントを実施します。



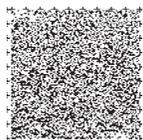
苦手克服のサポート等、スポーツ離れを抑制

スポーツへの苦手意識を払拭し、一つでも多くの「できた」経験（成功体験）の獲得を支援するなど、学齢の進行に伴う状況変化も捉えながら、スポーツが好きになるきっかけを創出していきます。



気軽にできる効果的な運動の普及啓発

身体を動かすことの効果や、日常における各動作の運動強度（METs）等を見える化するとともに、勉強や習い事の合間など子供の余暇時間の中で気軽に取り組める運動等を周知していきます。



子供が様々な運動・スポーツに親しむ機会の創出

幼児期から、日常の活動シーンや一人ひとりの身体能力に合わせ、様々な運動・スポーツを知る・体験する・上達する（教わる）機会を提供します。

また、保育士や教員等の子供に接する機会の多い人を対象に、スポーツ・レクリエーション等の気軽に楽しめるスポーツのルールや楽しみ方等を周知・浸透していきます。

子供の未来を育む「体験活動」推進区市町村支援事業（「遊び」特別推進枠）

子供の「遊び」を地域へ拡大・浸透させるため、遊び体験の創出やプレーリーダー等の人材育成、安全対策などに取り組む区市町村を支援していきます。

バーチャルスポーツに触れる機会の提供

東京2025世界陸上を契機として、好きな時間に、好きなコースをランニングし、全国どこからでも参加できるバーチャルランを実施します。

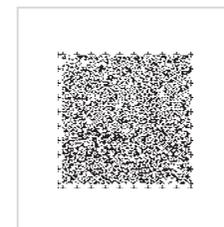
障害のある子供がスポーツに出会える・楽しめる機会を提供

特別支援学校を活用した体験教室における親子教室など、障害種別に応じたきめ細かなプログラムを実施します。

また、放課後等デイサービスへの指導者の派遣により運動習慣の定着を図る取組を実施します。



体験教室（親子チャレンジ教室）



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱1 スポーツで輝く

施策② ライフステージに応じたスポーツを推進

▶子供たちが体を動かす場の確保

継続的なスポーツ機会の創出・提供

デジタル技術等を活用し、これまではスポーツの場として使用されていない場所や空間を新たなスポーツの場として創出します。

また、チームや学校等の所属にとらわれず、多様なスポーツを気軽に実施できる場所を増やすため、多様な主体と連携して切れ目のないスポーツ参加機会を提供していきます。

▶関連ページ P.227

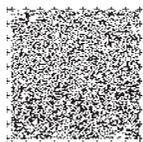
子供の遊び場等整備事業

子供の意見を踏まえながら、プレーパークやボール遊び場など、地域資源を活用した遊び場等の創出に取り組む区市町村を支援します。

放課後子供教室

区市町村において、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、子供たちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の人々の参画を得て、子供たちとともに、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子供たちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。

校庭等の芝生化の推進



子供の運動量や屋外で活発に過ごす時間の増加が期待される校庭等の芝生化を推進するため、私立学校や幼稚園、保育所等において、校庭等の芝生化に取り組む場合、一定の要件の下、補助金を交付します。



▶ 学校における運動量の十分な確保と優れた実践の普及

「楽しむスポーツ」の普及

技術の向上だけではない、「楽しさ」や「気軽さ」を主眼に置いたスポーツ・レクリエーション等のスポーツ活動を支援します。

また、区市町村が行う、デジタル技術を活用したスポーツに関する取組を後押しするなど、新しいスポーツの楽しみ方の普及を促進していきます。

児童・生徒の運動時間の十分な確保

児童・生徒の体力向上のため、運動時間の確保をはじめ、運動部活動への積極的な参加や休み時間等を活用した身体活動量の維持・増加を図ります。

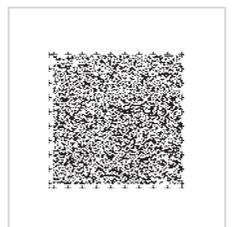


都立特別支援学校におけるスポーツ教育推進

都立特別支援学校を「スポーツ教育推進校」に指定し、障害者のスポーツ振興を図ります。

▶ 関連ページ

P.169



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱1 スポーツで輝く

施策② ライフステージに応じたスポーツを推進

▶学校における運動量の十分な確保と優れた実践の普及

高等学校における体力向上のモデル校「エンジョイ・スポーツプロジェクト」の実施

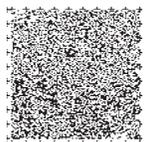
専門的な知見を有する外部機関と連携し、競技志向ではなく、体力向上や運動・スポーツの楽しさを実感する生徒の多様なニーズに応える運動機会や健康的な生活習慣を改善するプログラム等を通して、豊かなスポーツライフに向けた都立高校生の資質・能力を高めていきます。

体育健康教育推進校

学校において、運動やスポーツとの多様な関わりを通して、健康で活力に満ちた生活をデザインする資質や能力を育成するため、体育健康教育推進校を設置します。また、一人1台端末の効果的な利活用等の推進により、個に応じた効果的・効率的な指導方法や評価方法、学習方法等の開発を進めます。

地域スポーツクラブ活動体制整備事業・文化部活動の地域移行等に向けた実証事業

地域におけるスポーツ・文化芸術活動の運営団体や指導者の確保方策や、費用負担の在り方の整理などの課題に総合的に取り組むために、地域において実践研究を実施し、研究成果を普及・発信します。



▶関連ページ

P.241

部活動指導員の導入

教員に代わって、専門的な技術指導や大会引率等を行うことができる部活動指導員を、引き続き、中学校、高等学校に導入し、教員の勤務負担軽減を図りながら、部活動の充実を図ります。

[▶ 関連ページ](#)

P.241



運動部活動指導者養成講習会の実施

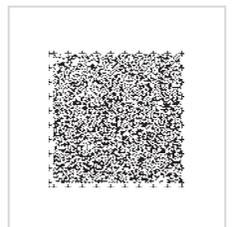
東京都高等学校体育連盟及び東京都中学校体育連盟と協定を結び、生徒の健全育成という原点に立った指導をより一層推進し、体罰等の許されない指導とあるべき指導の考え方を明確にし、顧問の教員や部活動指導員等の指導力向上を図ります。

[▶ 関連ページ](#)

P.241

各学校における「学校2020レガシー」の取組の支援

オリンピック・パラリンピック教育の実践を踏まえ、各学校で東京2020大会後も実施する教育活動を「学校2020レガシー」とし、その取組を支援します。



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱1 スポーツで輝く

施策② ライフステージに応じたスポーツを推進

▶ 児童・生徒の体力の把握と活用

学校体育実技指導者講習会の開催

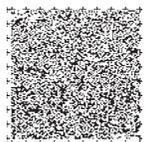
スポーツ庁が主催する「体育・保健体育指導力向上研修」を活用し、体力や技能の程度、年齢や性別及び障害の有無等にかかわらず、スポーツの多様な楽しみ方を社会で実践できるよう、調和のとれた子供の体力向上を図るための指導法を習得するなど、教員の指導力の向上を図り、体育・保健体育授業等の充実に努めていきます。

東京都統一体力テストの実施

東京都の児童・生徒の体力・運動能力や生活・運動習慣等の実態を把握・分析することにより、児童・生徒の体力・運動能力等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ります。

また、これらの取組を通じて、学校における児童・生徒の体力・運動能力等の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立するため、「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査（東京都統一体力テスト）」を引き続き実施し、その結果を活用していきます。

あわせて、東京都統一体力テストのデジタル化により、体力と生活習慣の相関等の分析が高速かつ容易になり、エビデンスに基づく取組を推進していきます。さらに、体力の見える化（経年変化等）を可能とし、児童・生徒が端末で自分の体力の現状を把握・分析することを容易にしていきます。



▶ 企業におけるスポーツ振興

ライフステージに応じたスポーツに親しむ時間・機会の創出

無理なく気軽に取り組めるスポーツの普及や、機会を創出していきます。

▶ 関連ページ P.191

多忙な働き盛り世代に向けた取組支援

企業の経営層や従業員への働きかけを通じ、女性を含む働き盛り世代が仕事をしながらスポーツに親しめる環境づくりを後押ししていきます。

▶ 関連ページ P.191

東京都スポーツ推進企業認定制度の運営

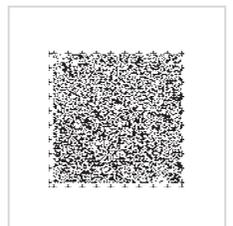
従業員のスポーツ活動を推進する取組や、スポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業等を「東京都スポーツ推進企業」として認定し、特に先進的な取組等を行っている企業等を、「東京都スポーツ推進モデル企業」として表彰します。

また、推進企業の取組を広く発信し、より多くの企業に波及させる目的で、ウェブサイトを経営するとともに、スポーツインストラクター等の派遣事業により、企業の取組を支援します。

▶ 関連ページ P.218,243



東京都スポーツ推進企業認定マーク



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱1 スポーツで輝く

施策② ライフステージに応じたスポーツを推進

▶企業におけるスポーツ振興

スポーツを通じた健康増進事業

企業等とも連携し、多忙な働き盛り世代を含めた都民の健康への関心を高め、スポーツに取り組むきっかけを提供していきます。また、体力データ等を活用し、身体活動等の状況が健康に及ぼす影響を見える化することにより、一人ひとりの健康増進に貢献していきます。

▶関連ページ P.130,188

東京ライフ・ワーク・バランス認定企業制度

従業員が生活と仕事を両立しながら、生き生きと働き続けられる職場の実現に向けて優れた取組を実施している中小企業を、「東京ライフ・ワーク・バランス認定企業」として広く都民に公表します。

▶関連ページ P.192

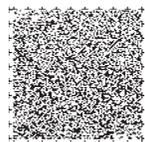
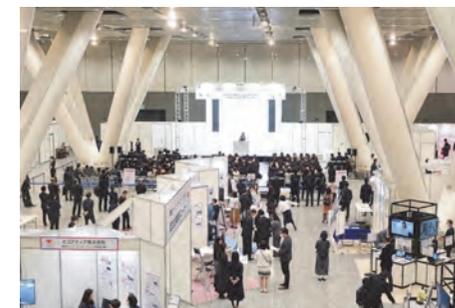
ライフ・ワーク・バランスEXPO

働き方の見直しについて普及啓発を図るため、「東京ライフ・ワーク・バランス認定企業」への認定状授与式をはじめ、認定企業の取組内容の紹介、また、積極的にライフ・ワーク・バランスに取り組む企業の人事労務担当者や、ライフ・ワーク・バランスの有識者等によるパネルディスカッション等を実施します。

▶関連ページ P.192



東京スポーツドック



▶いつまでも心身ともに健康に生きるためのスポーツ振興

シニアスポーツ振興事業

高齢者のスポーツ実施率向上を図り、高齢者の健康維持・増進に寄与することを目的に、各地域で実施する高齢者対象のスポーツ競技会、講習会・講演会等を支援します。

▶関連ページ P.187,279



シニア健康スポーツフェスティバルの開催

スポーツや健康づくり推進活動を通して、社会参加や仲間づくり、世代間交流を促進し、明るく活力のある長寿社会づくりを進めることを目的として開催します。翌年の全国健康福祉祭（ねんりんピック）に派遣する選手の選考会も兼ねています。

▶関連ページ P.187

全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手団派遣

高齢者の健康維持・増進、生きがいの高揚を図ることを目的に、昭和63（1988）年から毎年開催されている全国健康福祉祭に東京都選手団を派遣します。

▶関連ページ P.187

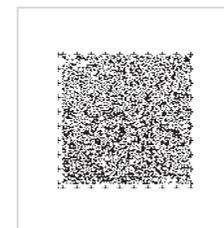
東京都シニア・コミュニティ交流大会の開催

シニア世代が趣味を通じて、地域やコミュニティ等とつながりを持つきっかけづくりを目的として、シニアに親しまれている種目（囲碁・将棋・健康マージャン・ダンススポーツ・カラオケ・eスポーツ）による交流大会を開催します。

▶関連ページ P.188,279



東京都シニア・コミュニティ交流大会



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱1 スポーツで輝く

施策② ライフステージに応じたスポーツを推進

▶いつまでも心身ともに健康に生きるためのスポーツ振興

人生100年時代セカンドライフ応援事業

高齢者の誰もが地域ではつらつと活躍できる社会を実現するため、文化、教養、スポーツ活動等を促進するほか、空き店舗等を利用して、高齢者が気軽に立ち寄り、参加できる活動の拠点を整備する区市町村を支援します。

▶関連ページ P.188

老人クラブ支援事業

高齢者の自覚的な健康づくり、介護予防への取組と正しい知識の普及を図るため、老人クラブ会員、地域の高齢者等を対象に東京都老人クラブ連合会が実施する健康教室の開催を支援します。

▶関連ページ P.188

老人クラブ区市町村支援事業

高齢者の自覚的な健康づくり、介護予防への取組と正しい知識の普及を図るため、老人クラブ会員、地域の高齢者等を対象に区市町村老人クラブ連合会が実施する健康教室の開催を支援します。

▶関連ページ P.189

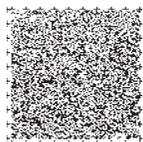
簡単に楽しめるスポーツの普及

年齢等を問わず簡単に楽しめるスポーツを普及・推進していきます。

▶関連ページ P.189



老人クラブ支援事業



幅広い世代が参加する大会の開催

● 東京都スポーツ大会

広くスポーツを普及・振興し、参加者の健康増進と体力向上を図るとともに、区市町村対抗の方式で競技力向上を図ることを目的に開催します。

● スポーツフェスティバル東京

幅広い世代のスポーツ愛好者を対象としたスポーツ大会であり、参加者が実力に関係なく、日頃の練習の成果を発揮する中で、スポーツを通じて親睦を深めることを目的に開催します。

● 都民スポレクふれあい大会

広く都民にスポーツ・レクリエーション活動を実践する場を提供し、参加意欲の喚起とともに、子供から高齢者まで世代を超えたふれあいと、健康・体力づくり、生きがいつくりを資することを目的に開催します。

● 東京都市町村総合スポーツ大会

市町村対抗で、参加市町村のスポーツ振興と競技力の向上、多摩地域の連帯を深め、地域の発展にも寄与することを目的に開催します。

● 全国青年大会

青年同士の友好親善を深めるとともに、青年が中心となって多様な世代が手を取り合い暮らせるような豊かな地域社会の創造を目指すことを目的に開催します。

● 東京都障害者スポーツ大会

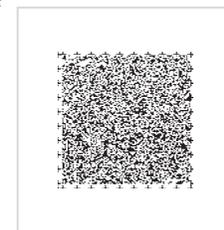
パラスポーツを通じて、自らの体力の維持増進及び社会への参加と相互の交流を促進させるとともに、都民の障害のある人に対する理解の増進を図り、もって障害のある人の自立の促進とスポーツ振興に寄与することを目的に開催します。



東京都スポーツ大会・東京都障害者スポーツ大会
合同開会式



東京都市町村総合スポーツ大会
開会式



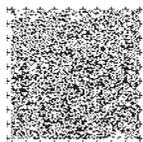
2 柱ごとの施策・取組

政策の柱1 スポーツで輝く



施策③

東京にゆかりのあるアスリートが躍動



現状と課題

東京にゆかりのあるアスリートの活躍を後押しできる仕組みの構築

東京都が発掘・育成・強化した東京2020大会出場アスリートは、**オリンピックで60人、パラリンピックで62人**でした。アスリートの活躍は、**次世代を担う子供たちの憧れや目標となるほか、幅広い世代に夢や希望、感動**を与えてくれます。

また、現役を退いた後も、発信力や地域とつながりがあるなど、地域のスポーツ振興に大きな役割を担っています。

東京にゆかりのあるアスリートがこれからも世界で活躍するためには、競技人口の裾野を広げるとともに、高みを目指せるようにすることが重要です。

今後の方向性

- **次世代を担うアスリート**を発掘・育成・強化するとともに、アスリートを支える**人材の確保**や**競技団体の基盤強化**に取り組んでいきます。



東京育ちアスリート・東京ゆかりパラアスリート
(松田 天空 選手)

施策③ 東京にゆかりのあるアスリートが躍動

具体的な取組

▶ 才能ある選手の発掘

トップアスリート発掘・育成事業

優れた運動能力を有する中学2年生を募集・選考し、育成プログラムを経て、適性のある競技でトップアスリートとして活躍できるよう支援します。



パラスポーツ次世代ホープ発掘事業

東京からパラスポーツの次世代を担う選手を輩出することを目的に、競技体験等を通じて、競技スポーツとのマッチングを行う発掘プログラムを実施します。

あわせて、競技活動への継続・定着を促すため、心理面・栄養面でのスポーツ理論やトレーニングに関する講習会や、自身の体力到達度を確認する体力測定会を実施します。

また、発掘プログラムに先立って、スポーツ用義足・車いすの事前体験会を開催します。



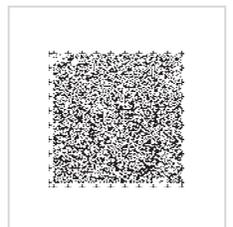
パラスポーツ次世代選手発掘プログラム

▶ 関連ページ

P.176



スポーツ用義足事前体験会



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱1 スポーツで輝く

施策③ 東京にゆかりのあるアスリートが躍動

▶東京にゆかりのあるアスリートの競技力向上

ジュニア選手育成・強化事業

ジュニア選手に対する競技普及のための体験会や有望なジュニア選手に対する強化練習等の支援を行います。

ジュニア育成地域推進事業

東京都のジュニア選手の裾野を広げ、競技力の底上げを図るため、小・中・高校生を対象としたスポーツ・運動教室、大会、強化練習等を実施します。

また、未就学児を対象に基礎的運動能力を習得するプログラムを展開します。

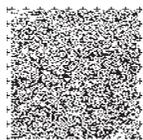
▶関連ページ P.278

国際大会等を目指すアスリートへの支援

ジュニア層を含む日本代表候補レベルの選手を幅広く強化するため、強化合宿への参加経費や海外で競技経験を積むための渡航費などに対する支援を行います。



東京育ちアスリート
(尾野 真歩 選手)



国スポ候補選手強化事業・国スポ選手健康調査チェック等事業

国民スポーツ大会において、東京都選手団が優秀な成績を収められるよう、国民スポーツ大会の東京都代表候補選手に対する強化練習等の支援を行うとともに、国民スポーツ大会出場候補選手の健康調査を実施します。

東京育ちアスリートの応援

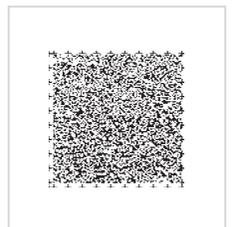
国際大会に出場し活躍したアスリートや、今後活躍が期待されるアスリートなどを、東京都が広報・応援し、地域での応援気運を醸成するとともに、アスリートが地域でのイベント等、様々な場面で活躍できる機会を創出します。

パフォーマンスサポート事業

国際大会等で活躍する東京育ちのアスリートの育成を図るため、競技団体が推薦する都内在住又は在学の高校生選手を対象に、都内のスポーツ関係機関と連携し、競技種目特性に応じたスポーツ医学的・科学的な面からのサポートを実施します。



東京育ちアスリート応援事業



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱1 スポーツで輝く

施策③ 東京にゆかりのあるアスリートが躍動

▶東京にゆかりのあるアスリートの競技力向上

指導者育成・スポーツ専門人材活用事業

スポーツ医・科学スタッフや指導実績のある指導者の招へい及び活用を促します。

スポーツを通じた国際交流

東京の子供たちが海外の子供たちとのスポーツを通じた交流を通じて、異なる文化への理解を深めるとともに、高い競技技術の中で競い合うことで競技力向上を推進していきます。

▶関連ページ P.193



東京国際ユース（U-14）サッカー大会

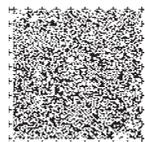
東京パラアスリート強化事業

東京からスター選手が継続的に輩出され、国際大会で活躍できるよう、東京ゆかりのパラアスリートやジュニアパラアスリートに強化合宿費や大会参加費等を支援し、アスリートの競技力向上を図ります。また、パラアスリートを支えるガイドランナーやコーチなどの「パラスポーツスタッフ」にも国内外の大会参加に伴う経費等を支援します。

▶関連ページ P.177



東京ゆかりパラアスリート・ジュニアパラアスリート認定式



パラスポーツ人材地域活動促進事業

東京都が支援してきたパラアスリート、スタッフ、競技団体等がこれまで培ってきた技術や経験などを地域に還元できるよう、講習会等を企画する団体等とのマッチングを行います。

▶ 関連ページ P.175



デフスポーツ競技団体都内活動促進事業

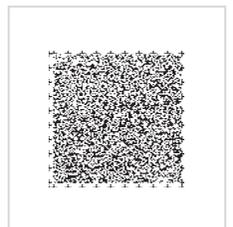
東京2025デフリンピックに向け、デフスポーツの競技力向上とともに、都民のデフスポーツへの関心を高めることを目的として、JPCに加盟するデフスポーツNFが都内で実施する強化合宿や普及啓発活動等に対して支援を行います。

▶ 関連ページ P.177,238

デフリンピックチャレンジ事業

東京2025デフリンピックに向け、NFが存在しない等の理由により、出場選手の強化・育成が進んでいない競技について、関連団体が都内で行う競技力向上事業や、東京2025デフリンピック出場を目指す東京にゆかりのある選手の競技活動に対して支援を行います。

▶ 関連ページ P.178,238



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱1 スポーツで輝く

施策③ 東京にゆかりのあるアスリートが躍動

▶アスリートを支える人材・基盤の強化

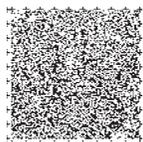
競技団体等組織基盤強化支援事業

都内で活動する競技団体及び地区体育・スポーツ協会における運営力の向上を図るため、研修会実施・HP改修のための支援や法人格の取得に向けた専門家相談等、団体の組織基盤強化に向けた活動を支援します。さらに、地区体育・スポーツ協会を対象に専門性が高い客観的な視点での会計調査を行うことにより、会計処理の適正化を徹底します。

▶関連ページ P.237

東京都スポーツ協会等のデジタル化による事務効率化支援

(公財)東京都スポーツ協会(TSPO)や競技団体等におけるデジタル化による事務効率化を支援し、競技力向上に向けた堅固な土台を確立していきます。



パラスポーツ競技活動支援事業

N F が J P C に加盟する競技の都内統括団体等が行う、選手の強化育成や指導者の養成等を目的とした練習会や強化合宿等の活動費を助成し、各団体の競技力向上を図ります。

▶ 関連ページ P.177,237

パラスポーツ団体体制強化支援事業

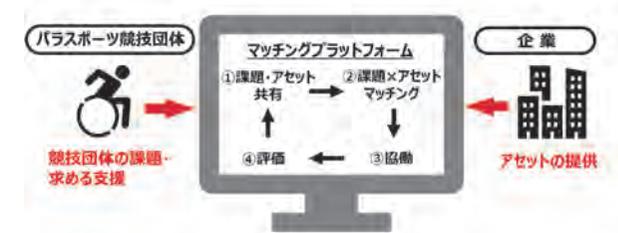
都内で活動するパラスポーツ競技団体の組織基盤強化及び運営能力向上に向け、国の「スポーツ団体ガバナンスコード」への適合や広報力の強化などを図るため、研修会の実施や、団体運営のアドバイス等を行います。また、助成金申請等に関する事務補助や専門家（弁護士や会計士等）による相談会の実施など、複合的な支援を行います。

▶ 関連ページ P.179,237

マッチングプラットフォーム構築

企業のノウハウ等と競技団体等の課題やニーズをマッチングするプラットフォームにより、パラスポーツへの企業の参画と競技団体の基盤強化を促進します。

▶ 関連ページ P.179,244

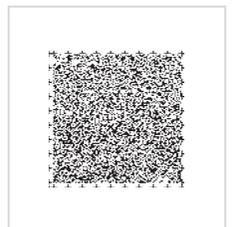


マッチングプラットフォームイメージ図

パラスポーツ団体普及活動支援事業

パラスポーツの普及振興のために活動するパラスポーツ団体に対して、日常の練習や体験会等の事業への助成を行います。

▶ 関連ページ P.179,238



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱1 スポーツで輝く

施策③ 東京にゆかりのあるアスリートが躍動

▶大会への選手・役員の派遣

国民スポーツ大会への選手・役員の派遣等

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的に毎年開催されるものです。

本大会の予選として東京都予選会を開催するとともに、本大会に選手・役員を派遣します。

また、関東ブロック大会を各都県持ち回りで開催します。

東京都障害者スポーツ大会の開催

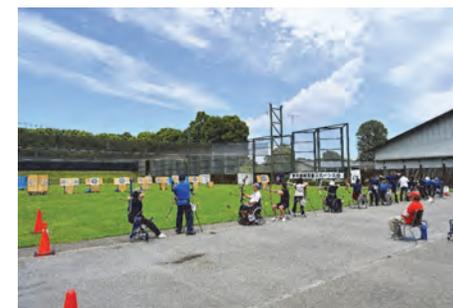
パラスポーツを通じて、自らの体力の維持増進及び社会への参加と相互の交流を促進させるとともに、都民の障害のある人に対する理解の増進を図り、もって障害のある人の自立の促進とスポーツ振興に寄与することを目的に開催します。

全国障害者スポーツ大会への選手・役員派遣

国民の障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加促進等に寄与することを目的として開催されている全国障害者スポーツ大会に、東京都を代表する選手や役員で構成される選手団を派遣します。



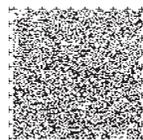
国民スポーツ大会東京都選手団



東京都障害者スポーツ大会の様子

▶関連ページ P.178

▶関連ページ P.178



▶アスリートのスポーツキャリア形成支援

アスリートのスポーツキャリア形成支援に係る取組の検討

アスリートのキャリア形成について、「人」としての人生を歩みながら「競技者」としての人生を歩むための「デュアルキャリア」という考えの下、アスリートのキャリア形成の支援を推進する取組を検討します。

▶優秀な成績を収めた東京のトップアスリートの表彰

東京都栄誉賞の贈呈

スポーツや文化など様々な分野で特に顕著な業績により、広く都民に敬愛され、社会に明るい夢と希望と活力を与え、東京都の名を高めた方に対して、その栄誉をたたえます。

都民スポーツ大賞の贈呈

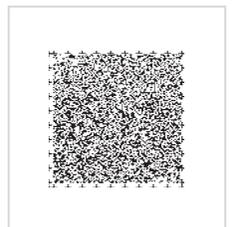
世界的なスポーツ大会において優秀な成績を収めた東京ゆかりのトップアスリートの功績をたたえています。

東京スポーツ奨励賞の贈呈

世界的なスポーツ大会において優秀な成績を収め、今後の活躍が期待される東京ゆかりのジュニアアスリートを表彰し、更なる活躍を奨励していきます。



東京都栄誉賞・都民スポーツ大賞表彰式
(パリ2024オリンピック・パラリンピック)



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱2 スポーツでつながる

目指す政策効果

- 障害の有無や性別、国籍等にかかわらず、人と人とのつながりが生まれ相互理解が進む
- 新たな技術も活用し、あらゆる人がスポーツを楽しめる環境を実現

施策



施策

① パラスポーツを楽しむ・パラスポーツで輝く

- ▶ パラスポーツの理解促進・普及啓発、場の充実、支える人材の確保、競技力向上



施策

② バリアフリー化やユニバーサルコミュニケーション技術の社会実装を促進

- ▶ 誰もが気軽に楽しめるユニバーサルデザイン志向のスポーツ環境整備、スポーツに関する技術開発・市場開拓への支援



施策

③ 多様な人々がスポーツでつながる、スポーツとつながる

- ▶ 性別、年齢などにかかわらず、それぞれのレベルに応じたスポーツを楽しむ、スポーツを通じた被災地との交流、スポーツを通じた国際交流

達成指標

障害のある都民（18歳以上）のスポーツ実施率



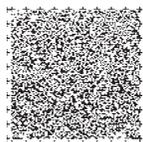
パラスポーツに関心がある都民（18歳以上）の割合



スポーツを通じて生きがいを感じる高齢者の割合



20~40歳代女性（都民）のスポーツ実施率





施策①

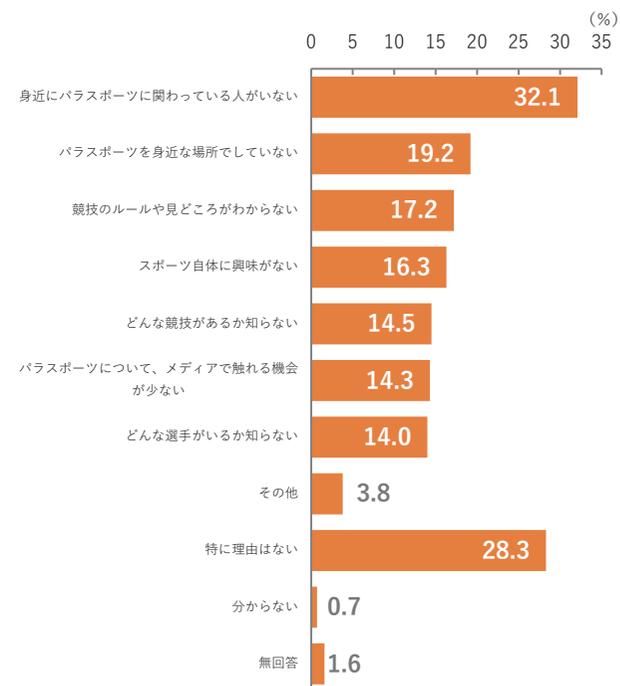
パラスポーツを楽しむ・パラスポーツで輝く

現状と課題

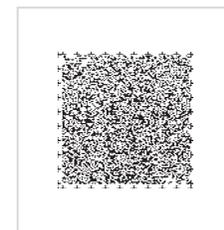
パラスポーツを知る・みる・体験する機会の提供

「都民のスポーツ活動に関する実態調査（2024年度）」によると、**パラスポーツに関心がある人は42.7%**となっておりますが、**関心がない理由は「身近に関わっている人がいない」（32.1%）、「身近な場所でやっていない」（19.2%）**という回答が多く挙げられました。パラスポーツが、**障害の有無を問わず誰もが楽しめるユニバーサルなスポーツ**として広まり、**スポーツを通じた相互理解**につながっていくため、**身近な場所でパラスポーツを知る・みる・体験する機会**を提供していく必要があります。

パラスポーツに関心がない理由



図表出典：「令和6年度 都民のスポーツ活動に関する実態調査」（2025年3月、生活文化スポーツ局）を基に作成



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱2 スポーツでつながる

現状と課題

個々の状況に応じたスポーツ環境の確保

東京都が実施した調査によると、障害のある人がスポーツを実施するために必要な支援は、「バリアフリー化」や「障害特性に合わせたプログラムの充実」が上位となっています。一方で1年間に全くスポーツを実施していない人の理由は「活動したいと思わない」が最も高くなっています。こうしたことから、障害のある人のスポーツ参加に向けては、**個々の状況に応じたスポーツ環境の確保、スポーツを楽しいと思ってもらえるような情報発信や機会の提供**を行っていく必要があります。

パラスポーツを支える人材の確保

障害のある人のスポーツ実施には、**障害特性に配慮して指導・サポートできる人材が不可欠で、多くの担い手が必要です**。一方でパラスポーツ指導員資格を有していても経験不足等の理由で活動頻度が低い人もいます。

また、**医療・福祉など障害のある人に身近な分野の人材を担い手として確保**していくことも重要です。

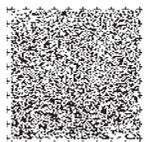
競技団体の基盤強化

選手の発掘・強化・育成等を担うパラスポーツの競技団体は、ガバナンスの確保など業務が多様化する中で体制や財政面で厳しい状況にあり、活動が十分にできていない競技団体もあります。

少子化等をはじめ社会構造が変化する中、ジュニア選手を含め国際大会等で活躍できる東京ゆかりのパラアスリートを輩出するためには、**選手や競技団体への支援**に一層取り組んでいく必要があります。

今後の方向性

- **パラスポーツのファンやサポーターを増やす**ため、身近な場所での体験機会の充実のほか、パラスポーツの魅力やアスリートの活躍を積極的に発信し、**理解促進**を図っていきます。
- **障害の種類や程度を問わず身近な地域でスポーツに取り組める環境をデジタル技術も活用し確保**するとともに、スポーツに関心のない人やできない人も**気軽に取り組める機会の提供**を行っていきます。
- **パラスポーツ指導員の養成や不安解消に向けた取組**のほか、**多様な分野からの担い手の確保及びボランティアの裾野拡大**を図っていきます。
- 障害者が競技スポーツに出会うきっかけを提供するとともに、選手の育成・強化や競技普及を担う**パラスポーツ競技団体等の基盤強化**に向け、**企業等との連携なども視野に入れながら支援策**を講じていきます。



施策① パラスポーツを楽しむ・パラスポーツで輝く

具体的な取組

▶ パラスポーツのファンやサポーターの裾野拡大

パラスポーツメモリアルイベントの開催

パラリンピックやデフリンピックを記念したメモリアルイベントを開催し、デフスポーツを含むパラスポーツの関心を一層高めていくとともに、スポーツの魅力発信やスポーツを通じた相互理解を促進し、共生社会の実現につなげていきます。

▶ 関連ページ P.207

パラスポーツ普及啓発プロジェクト「TEAM BEYOND」

東京2020パラリンピックで高まったパラスポーツへの関心や応援の気運を更に高め、レガシーとして未来につないでいくため、パラスポーツのファンやサポーターを増やし、パラスポーツが社会に根付いていくよう、SNS等を活用した情報発信や体験会の開催を行うなど、パラスポーツを身近に感じてもらうための総合的なプロジェクトを展開します。

▶ 関連ページ P.128,131,168,169,205,220,221,244

スポーツTOKYOインフォメーションの運営

東京都のスポーツ情報サイト「スポーツTOKYOインフォメーション」を通じて、東京のスポーツイベント、大会観戦・応援情報、スポーツ施設や行政情報などを発信し、多くの人々にスポーツへの関心を高めてもらいます。

▶ 関連ページ P.127,133,220,243

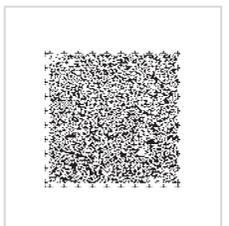
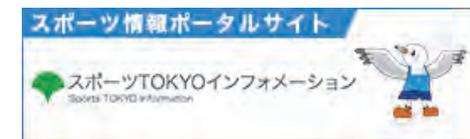
パラスポーツ専門ポータルサイトTOKYOパラスポーツ・ナビの運営

障害のある人やパラスポーツを支える人を対象に、都内のパラスポーツイベント情報や、公共スポーツ施設のバリアフリー情報等を発信するパラスポーツ専門ポータルサイト「TOKYOパラスポーツ・ナビ」を運営します。

▶ 関連ページ P.127,133,220



パラ競技デモンストレーション



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱2 スポーツでつながる

施策① パラスポーツを楽しむ・パラスポーツで輝く

▶ パラスポーツのファンやサポーターの裾野拡大

障害者のスポーツに関する意識調査

障害のある人のスポーツ活動に関する意識や実態を把握し、今後のパラスポーツ振興に資する施策展開の基礎資料として活用します。

▶ 関連ページ P.129

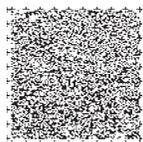
区市町村スポーツ推進補助事業

急速な高齢化やデジタル化等、スポーツを取り巻く環境が変化する中、誰もがスポーツを「楽しみ」、スポーツを行う「人」が輝くスポーツ振興を実現するため、身近な場でスポーツができる環境の拡大やパラスポーツの普及など区市町村が実施するスポーツ振興事業に対して補助を行います。

▶ 関連ページ P.133,189,203,214,277

東京2025デフリンピックを契機とした学校を通じた取組

子供たちが東京2025デフリンピックを通じて多くのことを学び、成長することをサポートしていきけるよう、デフアスリートを招いた学校での学びの機会など、様々な取組を展開していきます。



都立特別支援学校における部活動振興

都立特別支援学校中学部・高等部の課外活動において、専門的な知識や技術等を有する人材を活用する外部指導員制度を導入します。

ヒューマンライツ・フェスタ東京

幅広い都民の方に、人権の大切さについて考え、理解を深めていただくための人権啓発イベント「ヒューマンライツ・フェスタ東京」において、ユニバーサルスポーツ体験会等を実施し、障害への理解促進と、多様性を認め合うことの啓発を行います。

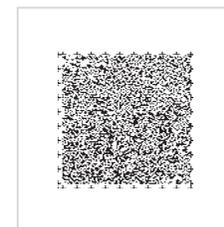


パラスポーツの理解促進と裾野拡大（意識啓発等）

東京都立大学が培ってきた研究成果やパラスポーツに対する支援実績を生かし、荒川キャンパス体育施設を活用し、学生の意識啓発、都民向け講習会、調査・研究を実施します。

パラスポーツの振興とバリアフリー推進に向けた懇談会

東京2020パラリンピックを契機としたパラリンピック・ムーブメントの継承・発展に併せて、ユニバーサルデザイン先進都市東京に向けた取組を推進することを目的として、パラスポーツの振興とバリアフリー推進に向けた懇談会を実施します。



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱2 スポーツでつながる

施策① パラスポーツを楽しむ・パラスポーツで輝く

▶ パラスポーツの観戦機会等の充実

パラスポーツ普及啓発プロジェクト「TEAM BEYOND」

「TEAM BEYOND」のメンバーに、パラスポーツの国際大会等を会場で一体となって観戦・応援できる機会を提供することで、競技や選手への関心をより深めてもらい、パラスポーツの理解促進につなげます。

▶ 関連ページ P.128,131,165,169,205,220,221,244



TEAM BEYOND観戦会

都内におけるパラスポーツ国際大会の開催促進

都民により多くのパラスポーツの観戦機会を提供し、魅力を知っていただくため、都内でパラスポーツ国際大会の開催を目指す競技団体等に支援を行います。

▶ 関連ページ P.202,221



三井不動産 車いすラグビー SHIBUYA CUP 2024

TOKYOパラスポーツチャンネルの配信

都内やその近郊で開催される全国又は国際レベルのパラスポーツ大会をケーブルテレビ等で実況・解説付きで中継・配信し、競技を初めて観る人でも楽しく観戦できる機会を提供します。

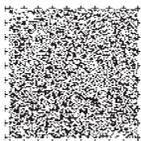
▶ 関連ページ P.128,221



TOKYOパラスポーツチャンネル

東京都人権プラザにおける「スポーツと人権」をテーマとした展示

オリンピック憲章における人権尊重の理念を周知するとともに、東京都の人権啓発拠点である東京都人権プラザの展示室に「スポーツと人権」に係る常設展示コーナーを設けてパラリンピックムラールを設置するなど、子供・若者をはじめとする幅広い都民に、人権の観点からオリンピック・パラリンピックをはじめとする様々な取組（デフリンピック、スペシャルオリンピックス、サイバスロンなど）を理解し、考える機会を提供します。



パラリンピックムラール

▶ パラスポーツを楽しむ体験会の創出

パラスポーツ普及啓発プロジェクト「TEAM BEYOND」

パラスポーツのファンやサポーターを増やすため、「TEAM BEYOND」プロジェクトのコンテンツとして、商業施設などの多くの人が集まる場所で、気軽にパラスポーツに触れ、魅力を体感してもらう体験会を実施します。

▶ 関連ページ P.128,131,165,168,205,220,221,244

チャレスポ! TOKYOの開催

障害のある人にスポーツの楽しさや効用を知ってもらい、スポーツを始めるきっかけを提供するとともに、障害のある人とない人がスポーツを通じて相互に交流する機会を創出し、理解と共感を深めてもらうための参加体験型スポーツイベントを開催します。

▶ 関連ページ P.132

パラスポーツオープン競技大会の開催

都民のパラスポーツに対する理解を深め、障害のある人の社会参加を促進するとともに、競技団体の活動活性化や競技スポーツ実施者の裾野拡大のため、東京都障害者スポーツ大会において、障害のある人もない人も参加できる競技をオープン競技として実施します。

都立特別支援学校におけるスポーツ教育推進

都立特別支援学校を「スポーツ教育推進校」に指定し、障害者のスポーツ振興を図ります。

▶ 関連ページ P.143



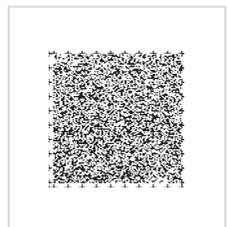
街なかパラスポット



チャレスポ! TOKYO



パラスポーツオープン競技大会
(ローリングバレーボール)の様子



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱2 スポーツでつながる

施策① パラスポーツを楽しむ・パラスポーツで輝く

▶身近な活動の場・機会の充実

パラスポーツ地域サポート事業

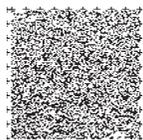
パラスポーツ事業のノウハウを持つアドバイザーが、区市町村や地域スポーツクラブ等を訪問し、事業の企画・実施を支援するほか、指導者等のコーディネートや用具の貸与を通じて、身近な地域でスポーツを楽しめる環境づくりを図ります。

また、区市町村間で現状の取組状況や課題についての意見交換、スポーツと医療・福祉等の他分野との連携事例の共有を行うパラスポーツ地域ブロック関係者連絡会議を実施します。

▶関連ページ P.134,214,282



パラスポーツ用具の貸出し



都立特別支援学校活用促進事業

障害のある人や障害者スポーツ団体等が身近な地域でスポーツ活動ができるよう、都立特別支援学校の体育施設をパラスポーツの拠点の一つと位置付け、学校教育活動に支障のない範囲で開放し、活用を促進します。

また、事業実施校において、障害の有無にかかわらず誰もが参加できるパラスポーツやスポーツ・レクリエーションの体験教室を実施します。

▶関連ページ P.135,141,215,229,281



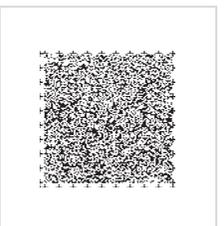
体験教室（風船バレー）

障害者のスポーツ施設利用促進事業

障害のある人が身近な地域のスポーツ施設をより安全で快適に利用できるようにするため、区市町村や民間のスポーツ施設において、施設管理者が配慮すべきポイントを掲載した「障害者のスポーツ施設利用促進マニュアル」の活用を促進します。

また、区市町村スポーツ施設に対して、パラスポーツの専門知識を有するアドバイザーを派遣し、施設のニーズや状況に合わせて、障害のある人のスポーツ施設の利用促進に向けた支援を実施します。

▶関連ページ P.135,216,229,281



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱2 スポーツでつながる

施策① パラスポーツを楽しむ・パラスポーツで輝く

▶身近な活動の場・機会の充実

TOKYOユニバーサルウォーキング普及事業

障害当事者等の意見も聞きながら都内各地域で選定してきたバリアフリーに配慮したウォーキングコースについて、多くの方に利用いただけるよう普及を図ります。あわせて、アプリを活用したキャンペーンを実施し、ウォーキングの継続的な実施につなげていきます。

▶関連ページ P.128,216,281



障害児・者の運動習慣定着支援事業

障害のある人が日中に滞在している福祉施設や放課後等デイサービスなどに指導者を派遣し、利用者の障害種別や程度等に応じた運動プログラムを定期的を実施することで、身体を動かすことの習慣化を図ります。

さらに、福祉施設等の近隣の体育館等でも運動プログラムを実施することで、地域の中で日常的に運動を楽しむきっかけを提供します。

▶関連ページ P.134,141,215,282

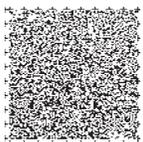


福祉施設内での運動プログラムの実施

障害者スポーツセンター、パラスポーツトレーニングセンターの運営

都内に2か所ある障害者スポーツセンターにて障害のある人へスポーツ・レクリエーション活動の場を提供するとともに、パラスポーツトレーニングセンターにてパラスポーツの競技力向上の場を提供するなど、パラスポーツの普及振興を図ります。

▶関連ページ P.229,280



東京都障害者総合スポーツセンター

▶ デジタル技術を活用したパラスポーツの実施促進

パラスポーツリモート参加事業

外出困難な重度の障害のある人等を対象に、遠隔操作によりコミュニケーションが可能な分身ロボットを活用し、パラスポーツの体験やボランティア参加などスポーツを「する・みる・支える・応援する」の様々な活動に参加できる機会を提供します。



分身ロボットを使って「する」スポーツに挑戦

デジタル技術を活用した障害のある人のスポーツ参加促進事業

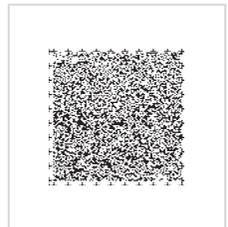
身体を動かしづらい人や、外出が難しい人等が、eスポーツの活用により、通い慣れた施設等の身近な場所で、障害の種別・程度に合わせた方法で、スポーツ・運動を楽しめる機会を創出します。

また、スポーツイベントや大規模展示会等での出展により、体験機会の拡大や障害のある人とない人との交流、企業等への障害のある人のニーズ理解や認知度向上を図ります。

▶ 関連ページ P.282



デジタル技術を活用したeパラスポーツの交流会



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱2 スポーツでつながる

施策① パラスポーツを楽しむ・パラスポーツで輝く

▶ パラスポーツを支える人材の確保

パラスポーツセミナーの開催

区市町村職員やスポーツ推進委員、医療福祉関係者等を対象にセミナーを開催し、パラスポーツ事業実施のきっかけづくりや好事例の共有・普及を図り、身近な地域におけるパラスポーツ振興のキーパーソンの育成を図ります。

▶ 関連ページ P.217,235,283



パラスポーツセミナー

初級・中級パラスポーツ指導員養成講習会

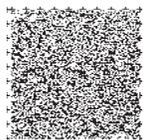
スポーツ推進委員や公立スポーツ施設職員等を対象に、J P S A 公認初級パラスポーツ指導員養成講習会を開催し、地域のパラスポーツの現場で、障害のある人のスポーツ参加のきっかけ作りを支援する人材を育成・確保します。

また、初級パラスポーツ指導員を対象に、中級パラスポーツ指導員養成講習会を開催し、地域のリーダーとして、専門的な知識と技術、経験に基づきパラスポーツの普及振興を支える人材を育成・確保します。

▶ 関連ページ P.217,236,283



パラスポーツ指導員養成講習会



パラスポーツ人材の活動活性化事業

パラスポーツボランティアポータルサイト「TOKYO 障スポ&サポート」を通じて、ボランティア人材にイベント等の情報を提供し、活動機会の拡充を図ります。

あわせて、ボランティア活動に役立つ学びの場として、講習会の実施やe-learning講座の発信などを行い、活動を促進します。

また、活動経験の少ないパラスポーツ指導員等を対象にした「リ・スタート研修会」や「地域事業参加型指導員育成事業」、支える活動に関する最新の情報提供を行う「パラスポーツフォーラム」を開催し、パラスポーツ人材の資質向上を図ります。

▶ 関連ページ P.233,236

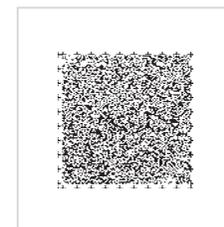


パラスポーツフォーラム

パラスポーツ人材地域活動促進事業

東京都が支援してきたパラアスリート、スタッフ、競技団体等がこれまで培ってきた技術や経験などを地域に還元できるよう、講習会等を企画する団体等とのマッチングを行います。

▶ 関連ページ P.157



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱2 スポーツでつながる

施策① パラスポーツを楽しむ・パラスポーツで輝く

▶ 競技スポーツとの出会いをサポート

パラスポーツ次世代ホープ発掘事業

東京からパラスポーツの次世代を担う選手を輩出することを目的に、競技体験等を通じて、競技スポーツとのマッチングを行う発掘プログラムを実施します。

あわせて、競技活動への継続・定着を促すため、心理面・栄養面でのスポーツ理論やトレーニングに関する講習会や、自身の体力到達度を確認する体力測定会を実施します。

また、発掘プログラムに先立って、スポーツ用義足・車いすの事前体験会を開催します。

▶ 関連ページ P.153



スポーツ用義足事前体験会

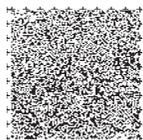


スポーツ用車いす事前体験会

パラスポーツスタートガイドの運営

様々なパラスポーツの魅力や、競技ルール等を分かりやすく伝えるとともに、アスリートや支えるスタッフのインタビューを掲載するなど競技スポーツを始める上で役立つ情報を提供する専用ウェブサイトを経営します。

▶ 関連ページ P.128



▶東京にゆかりのあるアスリートの競技力向上

パラスポーツ競技活動支援事業

N F が J P C に加盟する競技の都内統括団体が行う、選手の強化育成や指導者の養成等を目的とした練習会や強化合宿等の活動費を助成し、各団体の競技力向上を図ります。

▶関連ページ P.159,237

デフスポーツ競技団体都内活動促進事業

東京2025デフリンピックに向け、デフスポーツの競技力向上とともに、都民のデフスポーツへの関心を高めることを目的として、J P C に加盟するデフスポーツN F が都内で実施する強化合宿や普及啓発活動等に対して支援を行います。

▶関連ページ P.157,238

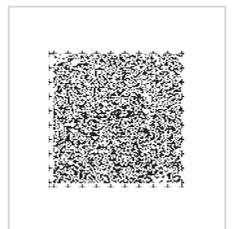
東京パラアスリート強化事業

東京からスター選手が継続的に輩出され、国際大会で活躍できるよう、東京ゆかりのパラアスリートやジュニアパラアスリートに強化合宿費や大会参加費等を支援し、アスリートの競技力向上を図ります。また、パラアスリートを支えるガイドランナーやコーチなどの「パラスポーツスタッフ」にも国内外の大会参加に伴う経費等を支援します。

▶関連ページ P.156



東京ゆかりパラアスリート・ジュニアパラアスリート認定式



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱2 スポーツでつながる

施策① パラスポーツを楽しむ・パラスポーツで輝く

▶東京にゆかりのあるアスリートの競技力向上

東京都障害者スポーツ大会の開催

パラスポーツを通じて、自らの体力の維持増進及び社会への参加と相互の交流を促進させるとともに、都民の障害のある人に対する理解の増進を図り、もって障害のある人の自立の促進とスポーツ振興に寄与することを目的に開催します。

▶関連ページ P.160



東京都障害者スポーツ大会

全国障害者スポーツ大会への選手・役員派遣

国民の障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加促進等に寄与することを目的として開催されている全国障害者スポーツ大会に、東京都を代表する選手や役員で構成される選手団を派遣します。

▶関連ページ P.160

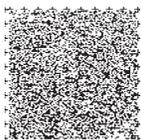


全国障害者スポーツ大会東京都選手団結団式

デフリンピックチャレンジ事業

東京2025デフリンピックに向け、NFが存在しない等の理由により、出場選手の強化・育成が進んでいない競技について、関連団体が都内で行う競技力向上事業や、東京2025デフリンピック出場を目指す東京にゆかりのある選手の競技活動に対して支援を行います。

▶関連ページ P.157,238



▶ パラスポーツに関する団体等の基盤強化

パラスポーツ団体体制強化支援事業

都内で活動するパラスポーツ競技団体の組織基盤強化及び運営能力向上に向け、国の「スポーツ団体ガバナンスコード」適合や広報力の強化などを図るため、研修会の実施や、団体運営のアドバイス等を行います。

また、助成金申請等に関する事務補助や専門家（弁護士や会計士等）による相談会の実施など、複合的な支援を行います。

▶ 関連ページ P.159,237

マッチングプラットフォーム構築

企業のノウハウ等と競技団体等の課題やニーズをマッチングするプラットフォームにより、パラスポーツへの企業の参画と競技団体の基盤強化を促進します。

▶ 関連ページ P.159,244

パラスポーツ団体普及活動支援事業

パラスポーツの普及振興のために活動するパラスポーツ団体に対して、日常の練習や体験会等の事業への助成を行っていきます。

▶ 関連ページ P.159,238

パラスポーツコンシェルジュ事業

パラスポーツを支援したいという民間企業等の意向を選手や競技団体につなぐため、（公社）東京都障害者スポーツ協会（T S A D）に相談窓口を設けるとともに、障害のある人に対してスポーツに関する情報提供や助言を行います。

また、企業と競技団体間のネットワークの構築及びマッチングを目的とした交流会を開催するとともに、アウトリーチ活動や定期セミナーを実施し、窓口での相談や交流会への参加へとつなげていきます。

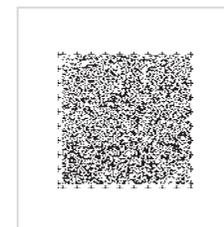
▶ 関連ページ P.244



マッチングプラットフォームイメージ図



パラスポーツコンシェルジュ事業



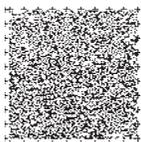
2 柱ごとの施策・取組

政策の柱2 スポーツでつながる



施策②

バリアフリー化やユニバーサルコミュニケーション技術の社会実装を促進

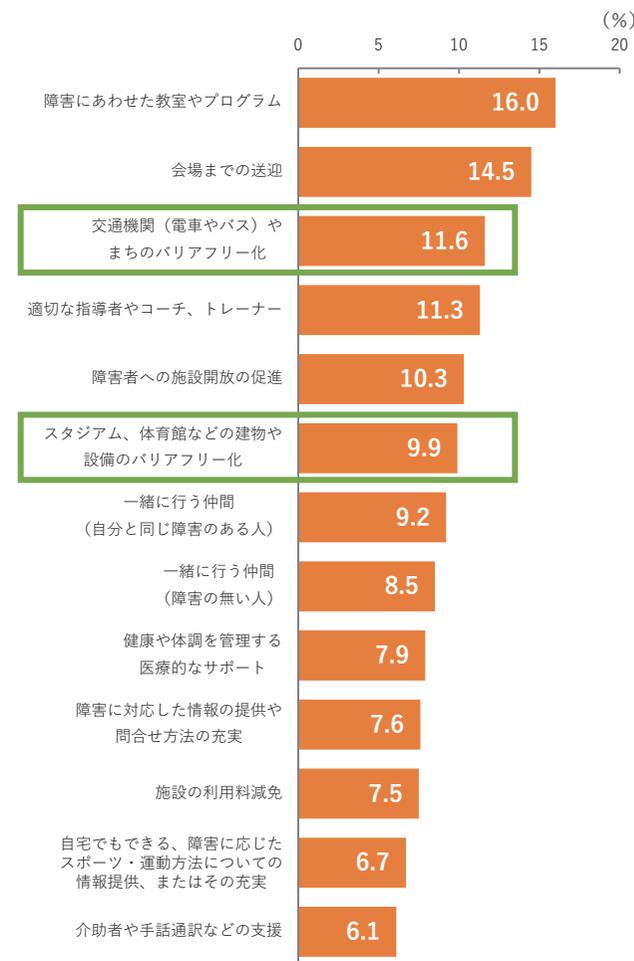


現状と課題

誰もが利用しやすいスポーツ施設等の整備を支援

「令和6年度 障害者のスポーツに関する意識調査」によると、「スポーツ・運動の実施に必要な支援」として「バリアフリー化」（交通機関やまち：11.6%、体育館などの建物等：9.9%）等という回答の割合が高くなっています。障害のある人や高齢者を含め、ソフト・ハード面から誰もが利用しやすい**スポーツ施設等の環境を整えていく**必要があります。

スポーツ・運動の実施に必要なと考える支援



図表出典：「令和6年度 障害者のスポーツに関する意識調査」（2025年3月、生活文化スポーツ局）を基に作成

現状と課題

ユニバーサルコミュニケーション技術の社会実装を促進

透明ディスプレイ上で、音声を多言語で文字化して表示する技術など、様々な技術が生まれています。国籍や障害などにかかわらず、誰もが分け隔てなくコミュニケーションをとることができるようにするため、令和7（2025）年に開催される東京2025世界陸上・東京2025デフリンピックを契機に、ユニバーサルコミュニケーション技術の活用を促進し、社会実装につなげていくことが必要です。

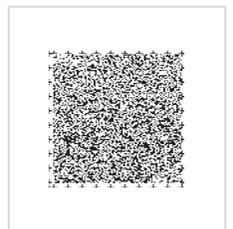
産業界と連携したスポーツ振興

スポーツは全ての人が性別や年齢、社会的・経済的地位、障害の有無にかかわらず楽しめなければなりません。

最新テクノロジーをスポーツの分野に取り入れて、スポーツへの参加機会を拡大する必要があります。

今後の方向性

- 施設のバリアフリー化や多言語対応など、都立施設の整備や区市町村立スポーツ施設整備を支援していきます。
- 誰もが気軽に楽しめるユニバーサルデザイン志向のスポーツ環境を整備していきます。
- 東京2025世界陸上・東京2025デフリンピックを契機にユニバーサルコミュニケーション技術の社会実装を促進していきます。
- 誰もが分け隔てなくスポーツを楽しめるよう、スポーツに関する技術開発・市場開拓を支援していきます。



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱2 スポーツでつながる

施策② バリアフリー化やユニバーサルコミュニケーション技術の社会実装を促進

具体的な取組

▶ バリアフリー化・ユニバーサルコミュニケーション技術の社会実装を促進

都立スポーツ施設の大規模改修

都立スポーツ施設について、老朽化した施設の改修、ユニバーサルデザインの導入、環境負荷の一層の低減等の取組を計画的に進め、施設の機能性や利便性を高めていきます。

▶ 関連ページ P.226

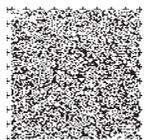
区市町村等のスポーツ施設の整備支援

区市町村のスポーツ環境の拡充に向け、ユニバーサルデザイン化の推進、暑さ対策、学校施設の市民開放などの施設の改修整備に係る取組を支援します。

▶ 関連ページ P.227,277

バリアフリー化等の普及・促進

スポーツ施設のほか、鉄道やバスにおけるユニバーサルデザインに基づくバリアフリー化や宿泊施設などのバリアフリー化を支援するなどし、障害のある人や高齢者などが会場や施設まで快適に足を運べるよう環境整備を進めます。



多言語対応の推進

誰もが暮らしやすい社会の実現に向けて、外国人も安心して都立スポーツ施設を利用できるよう、各施設における多言語対応を推進していきます。

▶ 関連ページ P.226

都立公園における音声認識システムの導入

都立公園における窓口対応などを支援する音声認識システムを導入します。

ユニバーサルコミュニケーション技術や機器の導入を支援

ユニバーサルコミュニケーション技術の社会への普及に向けて、区市町村や駅、宿泊施設、文化施設などにおけるユニバーサルコミュニケーション機器を導入又は導入を支援します。

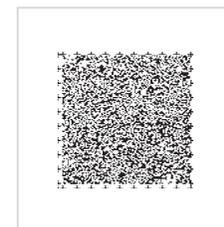
ユニバーサルコミュニケーションの促進

東京2025世界陸上・東京2025デフリンピックを契機に、国籍や障害の有無にかかわらず、スムーズなコミュニケーションを実現するため、大会に向けて、各種イベントへの出展やスタートアップ等との協働による技術開発を進めるとともに、都立施設の窓口や大会時の競技会場での技術活用を促進します。また、両大会における技術活用やショーケース等を国内外へ広くPRしていきます。

▶ 関連ページ P.199



音声を多言語で表示する「透明ディスプレイ」



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱2 スポーツでつながる

施策② バリアフリー化やユニバーサルコミュニケーション技術の社会実装を促進

▶ スポーツに関する技術開発・市場開拓への支援

TOKYO戦略的イノベーション促進事業

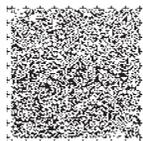
今後成長が期待されている産業分野における技術開発・市場動向を示した「イノベーションマップ」を策定し、これに沿って中小企業等が、他企業、大学等と連携して行う大規模技術開発とその事業化を支援します。

▶ 関連ページ P.245

シニア・福祉・アクセシビリティ関連製品等の販路開拓助成事業

介護を必要とする高齢者や障害のある人が利用する福祉用具をはじめ、健康で社会活動等に意欲があるアクティブシニア向けの製品・サービス、障害の有無にかかわらず誰でも利用することを目指したパラスポーツ関連製品やアクセシブルデザイン製品等、高齢者や障害のある人を対象とした幅広い製品・サービスについて、国内外への販路拡大を支援していきます。

▶ 関連ページ P.245





施策③

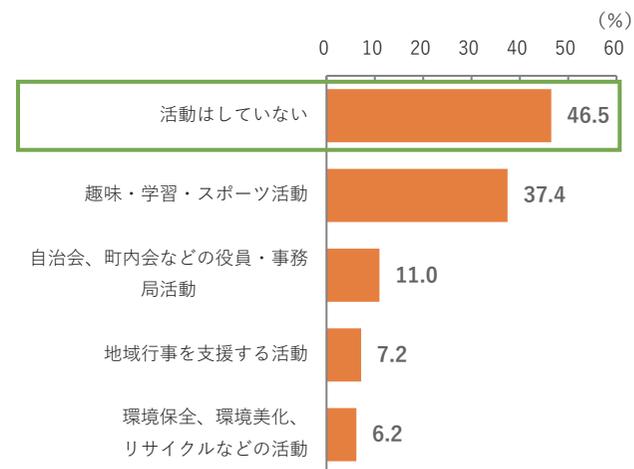
多様な人々が
スポーツでつながる、
スポーツとつながる

現状と課題

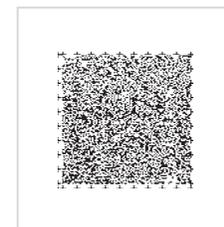
新たな交流や地域コミュニティへの参加 機会の創出

令和2（2020）年に東京都福祉保健局が実施した「高齢者の生活実態」調査によると、高齢者の社会参加の状況について、「活動をしていない」（46.5%）が最も多い回答でした。高齢者がスポーツに親しみ、社会とのつながりを形成していくには、新たな交流や地域コミュニティへの参加機会を創出する必要があります。

1年間に行った社会参加の状況(複数回答)



図表出典：「令和2年度 高齢者の生活実態」（2021年10月、福祉保健局）を基に作成



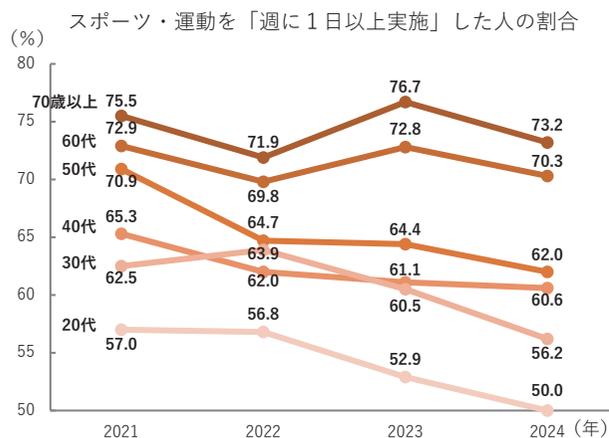
2 柱ごとの施策・取組

政策の柱2 スポーツでつながる

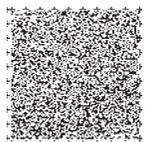
現状と課題

20代から50代女性のスポーツ実施率向上

令和6（2024）年に実施した「都民のスポーツ活動に関する実態調査」によると、**女性の20代から50代のスポーツ実施率が減少傾向**となっています。女性のスポーツを振興していくためには、**仕事や家事・育児の中でも気軽にスポーツに取り組める環境整備**をしていく必要があります。



図表出典：「都民のスポーツ活動に関する実態調査」（生活文化スポーツ局）を基に作成



今後の方向性

- 年齢、性別などにかかわらず**それぞれのレベルや、ライフスタイル**に応じたスポーツを楽しむ機会を創出していきます。
- スポーツを通じた**被災地復興支援、国際交流**を通じて、**相互理解を促進し、次世代育成**に貢献していきます。

スポーツを通じた相互理解の促進

東京都はこれまで、スポーツを通じて**被災地との絆**を築いてきました。日本の首都として**被災地の復興**を牽引していくため、スポーツを通じて被災した子供たちに夢や勇気を与えられるよう、現地の実情を踏まえながら、運動機会の提供など復興に向けた支援を引き続き行っていく必要があります。

また、世界共通の文化であるスポーツを通じて、**世界各都市のジュニア選手との交流**を進め、**競技力の向上**を目指すとともに、**国を越えた相互理解**を深めることを目的として**国際交流事業**を実施してきました。

次代を担う子供たちが、小さい頃から異なる文化に触れることで、グローバルな視野を育み、成長できるように、多くの国際スポーツ大会を開催してきた都市として、**スポーツを通じた国際交流**を引き続き推進することが必要です。

施策③ 多様な人々がスポーツでつながる、スポーツとつながる

具体的な取組

▶ 高齢者のスポーツ振興

シニアスポーツ振興事業

高齢者のスポーツ実施率向上を図り、高齢者の健康維持・増進に寄与することを目的に、各地域で実施する高齢者対象のスポーツ競技会、講習会・講演会等を支援します。

▶ 関連ページ P.149,279



シニア健康スポーツフェスティバルの開催

スポーツや健康づくり推進活動を通して、社会参加や仲間づくり、世代間交流を促進し、明るく活力のある長寿社会づくりを進めることを目的として開催します。翌年の全国健康福祉祭（ねんりんピック）に派遣する選手の選考会も兼ねています。

▶ 関連ページ P.149

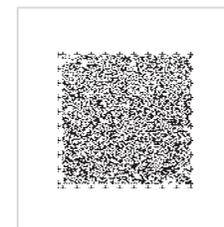


シニア健康スポーツフェスティバル
テニス大会

全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手団派遣

高齢者の健康維持・増進、生きがいの高揚を図ることを目的に、昭和63（1988）年から毎年開催されている全国健康福祉祭に東京都選手団を派遣します。

▶ 関連ページ P.149



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱2 スポーツでつながる

施策③ 多様な人々がスポーツでつながる、スポーツとつながる

▶ 高齢者のスポーツ振興

東京都シニア・コミュニティ交流大会の開催

シニア世代が趣味を通じて地域やコミュニティ等とつながりを持つきっかけづくりを目的として、シニアに親しまれている種目（囲碁・将棋・健康マージャン・ダンススポーツ・カラオケ・eスポーツ）による交流大会を開催します。

▶ 関連ページ P.149,279



東京都シニア・コミュニティ交流大会

スポーツを通じた健康増進事業

様々な機会を通じて都民が気軽にスポーツに取り組むきっかけを提供し、継続的なスポーツ実施につなげていきます。また、都民の体力データ等を活用し、身体活動等の状況が健康に及ぼす影響を見える化することにより、都民の健康への関心を高め、健康増進に貢献していきます。

▶ 関連ページ P.130,148



東京スポーツドック

人生100年時代セカンドライフ応援事業

高齢者の誰もが地域ではつらつと活躍できる社会を実現するため、文化、教養、スポーツ活動等を促進するほか、空き店舗等を利用して、高齢者が気軽に立ち寄り、参加できる活動の拠点を整備する区市町村を支援します。

▶ 関連ページ P.150

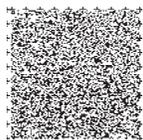


老人クラブ支援事業

老人クラブ支援事業

高齢者の自覚的な健康づくり、介護予防への取組と正しい知識の普及を図るため、老人クラブ会員、地域の高齢者等を対象に東京都老人クラブ連合会が実施する健康教室の開催を支援します。

▶ 関連ページ P.150



老人クラブ区市町村支援事業

高齢者の自覚的な健康づくり、介護予防への取組と正しい知識の普及を図るため、老人クラブ会員、地域の高齢者等を対象に区市町村老人クラブ連合会が実施する健康教室の開催を支援します。

▶ 関連ページ P.150

簡単に楽しめるスポーツの普及

年齢等を問わず簡単に楽しめるスポーツを普及・推進していきます。

▶ 関連ページ P.150

多彩なスポーツの取組を通じた交流機会の提供

スポーツと多様な分野（音楽、食事など）を掛け合わせたバラエティに富んだ取組やスポーツ観戦、社会参加の情報発信等を通じてスポーツを楽しんでもらえるよう、地域や関係団体等と連携し、検討していきます。

▶ 関連ページ P.132,208

スポーツ大会への都民招待

主催者と連携を図りながら大規模スポーツ大会等やプロスポーツチーム等が主催する試合に都民を招待することにより、スポーツを実際にみる機会を創出します。

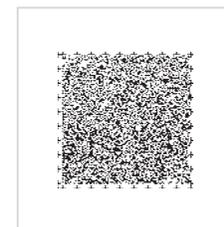
▶ 関連ページ P.221



区市町村スポーツ推進補助事業

急速な高齢化やデジタル化等、スポーツを取り巻く環境が変化する中、誰もがスポーツを「楽しみ」、スポーツを行う「人」が輝くスポーツ振興を実現するため、身近な場でスポーツができる環境の拡大やパラスポーツの普及など区市町村が実施するスポーツ振興事業に対して補助を行います。

▶ 関連ページ P.133,166,203,214,277



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱2 スポーツでつながる

施策③ 多様な人々がスポーツでつながる、スポーツとつながる

▶ 高齢者のスポーツ振興

幅広い世代が参加する大会の開催

- 東京都スポーツ大会

広くスポーツを普及・振興し、参加者の健康増進と体力向上を図るとともに、区市町村対抗の方式で競技力向上を図ることを目的に開催します。

- スポーツフェスティバル東京

幅広い世代のスポーツ愛好者を対象としたスポーツ大会であり、参加者が実力に関係なく、日頃の練習の成果を発揮する中で、スポーツを通じて親睦を深めることを目的に開催します。

- 都民スポレクふれあい大会

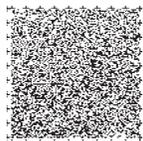
広く都民にスポーツ・レクリエーション活動を実践する場を提供し、参加意欲の喚起とともに、子供から高齢者まで世代を超えたふれあいと、健康・体力づくり、生きがいつくりに資することを目的に開催します。

- 東京都市町村総合スポーツ大会

市町村対抗で、参加市町村のスポーツ振興と競技力の向上、多摩地域の連帯を深め、地域の発展にも寄与することを目的に開催します。

- 東京都障害者スポーツ大会

パラスポーツを通じて、自らの体力の維持増進及び社会への参加と相互の交流を促進させるとともに、都民の障害のある人に対する理解の増進を図り、もって障害のある人の自立の促進とスポーツ振興に寄与することを目的に開催します。



▶ 関連ページ P.151,278,285



東京都スポーツ大会・
東京都障害者スポーツ大会
合同開会式

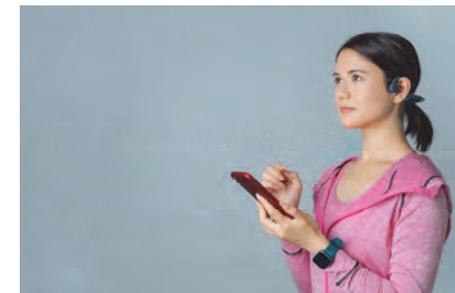


東京都市町村総合スポーツ大会
開会式

▶女性スポーツ振興

女性向けスポーツ情報の発信

女性向けのイベント情報の発信や、他分野との連携により、スポーツへの意識をポジティブに変容する取組を展開していきます。



女性特有の健康課題の予防に資するスポーツの普及・啓発

女性それぞれのライフステージで特有の健康課題を予防できるよう日常生活に取り入れられるスポーツを紹介し、スポーツの実施を促進します。

ライフステージに応じたスポーツに親しむ時間・機会の創出

無理なく気軽に取り組めるスポーツの普及や、機会を創出していきます。

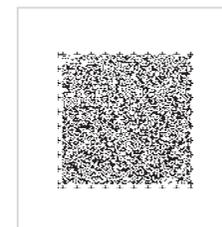
▶関連ページ P.147



多忙な働き盛り世代に向けた取組支援

企業の経営層や従業員への働きかけを通じ、女性を含む働き盛り世代が仕事をしながらスポーツに親しめる環境を後押ししていきます。

▶関連ページ P.147



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱2 スポーツでつながる

施策③ 多様な人々がスポーツでつながる、スポーツとつながる

▶女性のスポーツ振興

女性アスリート特有の課題に関する情報発信

コンディション管理やけが予防など、女性アスリート特有の課題に関する正しい知識をアスリートや指導者に普及啓発します。

スポーツ関係団体における参画促進

女性のスポーツ関係団体役員等への積極的な任用を実情に応じて働きかけていきます。

東京ライフ・ワーク・バランス認定企業制度

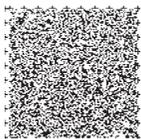
従業員が生活と仕事を両立しながら、生き生きと働き続けられる職場の実現に向けて、優れた取組を実施している中小企業を「東京ライフ・ワーク・バランス認定企業」として広く都民に公表します。

▶関連ページ P.148

ライフ・ワーク・バランスEXPO

働き方の見直しについて普及啓発を図るため、東京ライフ・ワーク・バランス認定企業への認定状授与式をはじめ、認定企業の取組内容の紹介、また、積極的にライフ・ワーク・バランスに取り組む企業の人事労務担当者や、ライフ・ワーク・バランスの有識者等によるパネルディスカッション等を実施します。

▶関連ページ P.148



▶ スポーツを通じた被災地交流

スポーツを通じた被災地交流事業

東日本大震災や能登半島地震における被災地復興支援のため、スポーツを通じて被災者に夢や勇気を与え、子供たちの心のケアや地域復興の一助となる事業を展開してきました。これまで築いてきた絆をレガシーとして、現地の実情を踏まえながら、東京都と被災地の子供たちがスポーツを通じて交流する事業を実施します。



ラグビー交流試合（岩手県）

▶ スポーツを通じた国際交流の推進

スポーツを通じた国際交流

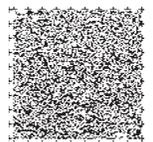
東京の子供たちが海外都市とのスポーツ交流を通じて、異なる文化への理解を深めるとともに、高い競技技術の中で競い合うことで競技力向上を推進していきます。

▶ 関連ページ

P.156



東京国際ユース（U-14）サッカー大会



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱3 スポーツでにぎわう

目指す政策効果

- スポーツ大会の積極的な開催・支援を通じ、多くの人々が**楽しみや感動**を体験
- 世界中のアスリートや観客が訪れ、にぎわい、東京が**世界で最も魅力的で選ばれる都市**となる

施策



施策

① 都内各地でスポーツイベントを開催し、都市に活力をプラス

- ▶ 東京2025世界陸上・東京2025デフリンピックを通じた主な取組、国際スポーツ大会に対する取組、ねりんピックの東京開催に向けた取組、東京マラソンをはじめとする、東京を活性化させるスポーツイベント等の展開



施策

② 住み慣れた地域でのスポーツをサポート

- ▶ 地域におけるスポーツ活動の推進、地域や経済の活性化に寄与した団体等の顕彰



施策

③ スポーツの魅力を発信し、スポーツを通じて感動を味わう

- ▶ スポーツの魅力発信、スポーツをみる機会の創出

達成指標

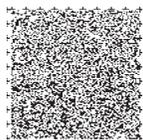
1年間にスポーツを直接観戦した
都民（18歳以上）の割合



1年間にスポーツイベント、大会に
参加したことがある都民（18歳以上）の割合



応援するスポーツチームや選手がいる
都民（18歳以上）の割合





施策①

都内各地でスポーツイベントを開催し、都市に活力をプラス

現状と課題

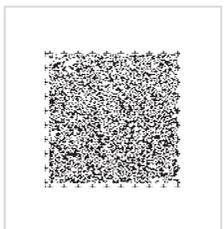
スポーツイベントを起点とした新たなレガシーの創出

東京2025世界陸上・東京2025デフリンピックの開催と両大会を通じた取組により、**ウェルネスの向上**や**社会変革**を推進し、東京に**新たなレガシー**を創出していきます。また、**第39回ねんりんピック**の開催に向け、**区市町村と連携**して地域のスポーツを推進していくことで、**地域の活性化**につなげていくことが必要です。

スポーツ大会の開催を通して、東京の更なる発展につなげる

世界6大メジャーマラソンとなっている**東京マラソン**において、**外国人出走者数は年々増加**しており、**2024年は13,557人**となりました。また、海外から来日するランナーへのおもてなしと、国内外のランナー同士が交流を深め結束を高めることを目的とした**ファンランイベント**をはじめ、地域の人々が参加した**様々なイベント**が開催されています。

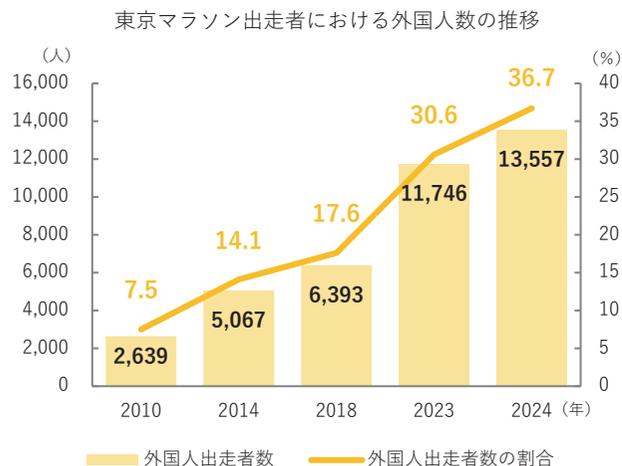
こうしたスポーツ大会は、**社会的・文化的効果**や**地域の活性化**、**プレゼンスの向上**などを都市にもたらします。**スポーツフィールド・東京**ならではのスポーツ大会の開催を通じて、**東京の更なる発展**につなげていくことが重要です。



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱3 スポーツでにぎわう

現状と課題



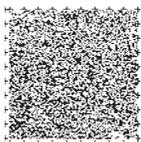
図表出典：「過去の大会結果・記録」（一財）東京マラソン財団）を基に作成

今後の方向性

魅力あるスポーツイベントの開催

スポーツを通じた**地域や経済の活性化**には、多くの人々が参加できる**スポーツイベントの開催**も効果的な取組の一つです。**多摩・島しょ**の自然等を生かしたスポーツイベントなど、**企業や関係団体等と連携**を図りながら、**魅力あるスポーツイベント**を開催していくことが重要です。

- **国際スポーツ大会**や、多くの人に参加してもらえる**スポーツイベント**の開催を通じて、**東京の魅力を発信**するとともに、スポーツを通じた**にぎわい創出**につなげていきます。



施策① 都内各地でスポーツイベントを開催し、都市に活力をプラス

具体的な取組

▶東京2025世界陸上・東京2025デフリンピックを通じた主な取組

東京2025世界陸上の開催支援

東京2025世界陸上の開催に向けて、大会の招致主体である（公財）日本陸上競技連盟や、運営組織である（公財）東京2025世界陸上財団などの関係者と連携し、大会の準備・運営に協力していくとともに、大会を通じて、スポーツを楽しむ機会の創出、東京の魅力発信、子供たちへの参画機会の提供などの取組を進めます。



東京2025世界陸上大会ロゴ

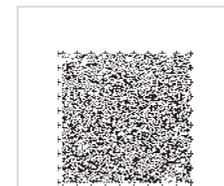
東京2025デフリンピックの開催支援

東京2025デフリンピックの開催に向けて、大会の招致主体である（一財）全日本ろうあ連盟などの関係者と連携し、大会の準備・運営に協力していくとともに、大会を通じて、あらゆる人が協働した大会運営、情報保障の充実や円滑なコミュニケーションのサポート、共生社会への理解促進などの取組を進めます。



東京2025デフリンピック
大会エンブレム

▶関連ページ P.284



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱3 スポーツでにぎわう

施策① 都内各地でスポーツイベントを開催し、都市に活力をプラス

▶東京2025世界陸上・東京2025デフリンピックを通じた主な取組

ビジョン2025の実現に向けた取組

両大会を通じて東京都が目指す姿をまとめた「ビジョン2025」に基づき、様々な取組を展開することで、大会を盛り上げるとともに、大会後のレガシーを創出していきます。



ビジョン2025

大会の気運醸成

スポーツのすばらしさ、多様な価値観を認め合う共生社会の大切さなど、両大会に共通するメッセージを、関係機関と連携して一体的に発信するとともに、節目の機会を捉えて様々な取組を展開することで、都民の関心と期待感を高め、大会の成功につなげていきます。

また、区市町村の協力を得て各種イベントで大会情報を発信するとともに、区市町村が独自に気運醸成に資する事業を実施できるよう支援を行い、連携して開催気運を高めていきます。

▶ 関連ページ P.284



きこえる・きこえないにかかわらずスポーツを通して交流

大会における子供の参画

大会関連イベントでのスポーツ体験やアスリートとの交流など、子供たちがスポーツのすばらしさを体感できる取組を実施するとともに、子供たちの意見を具体化し大会運営に反映するほか、デフスポーツやきこえない・きこえにくい人の文化について学ぶ機会を提供します。

大会時には、エスコートキッズやメダルセレモニーなど、大会にとって大切な役割に子供たちが参画し、大会の一員として活躍します。

また、都内や被災地の子供たちが会場で観戦する機会を設けます。



子供たちによる東京2025デフリンピック大会エンブレムデザイン投票時の集合写真

ユニバーサルコミュニケーションの促進

東京2025世界陸上・東京2025デフリンピックを契機に、国籍や障害の有無にかかわらず、スムーズなコミュニケーションを実現するため、大会に向けて、各種イベントへの出展やスタートアップ等との協働による技術開発を進めるとともに、都有施設の窓口や大会時の競技会場での技術活用を促進します。また、両大会における技術活用やショーケーシング等を国内外へ広くPRしていきます。

▶ 関連ページ P.183

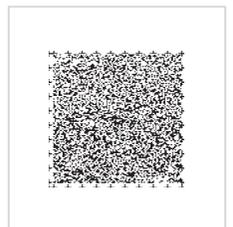


競技音を音やエフェクトで可視化するシステム「ミルト」

国際スポーツ大会におけるガバナンス確保の取組

東京都の「国際スポーツ大会への東京都の関与のガイドライン」や国の「大規模な国際又は国内競技大会の組織委員会等のガバナンス体制等の在り方に関する指針」等を踏まえ、東京2025世界陸上・東京2025デフリンピックの大会運営組織におけるガバナンス確保に向けた取組状況等について、有識者会議において確認、意見交換を行うなど、国際スポーツ大会におけるガバナンス確保の取組を進めます。

▶ 関連ページ P.250



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱3 スポーツでにぎわう

施策① 都内各地でスポーツイベントを開催し、都市に活力をプラス

▶東京2025世界陸上・東京2025デフリンピックを通じた主な取組

デフアスリートやデフ競技団体の活動支援

東京2025デフリンピックに向け、デフスポーツの競技力を向上させるとともに、都民のデフスポーツへの関心を高めることを目的として、JPCに加盟するデフスポーツNF等が都内で実施する強化合宿や普及啓発活動等を後押しします。

また、デフリンピック等の出場を目指す東京にゆかりのある選手の競技活動に係る経費を支援します。

最新の技術を活用し、重度障害などがある人も大会へ参画

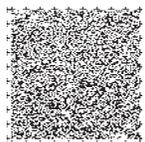
東京2025世界陸上・東京2025デフリンピック開催期間において、会場等に分身ロボットを配置し、福祉施設等から操作用タブレットを用いて遠隔操作することで、外出困難な重度の障害のある人等に会場との交流や観戦を通じて大会に参画する機会を提供します。



分身ロボットを通じて遠隔地から会場と一体となって試合観戦

誰もが利用しやすい施設環境の整備推進

東京2025デフリンピック会場における光警報装置等のアクセシビリティ設備を導入するなど、誰もが利用しやすい施設に向けた取組を推進します。



▶関連ページ

P.226

東京2025世界陸上・東京2025デフリンピックに向けた文化プログラム

東京2025世界陸上・東京2025デフリンピックに向け、東京2020大会の文化プログラムのレガシーを継承・発展させた新たな取組として、三つのアートプロジェクトを展開するとともに、芸術文化へのアクセシビリティ向上に取り組みます。東京の持つ芸術文化の魅力発信や共生社会の実現に向けた歩みを進めるとともに、両大会を盛り上げます。



TOKYO わっしょい

▶国際スポーツ大会に対する取組

国際大会誘致・調査支援、開催支援

東京のスポーツ振興及び都市のプレゼンスの一層の向上を図るため、都内で国際スポーツ大会の開催を目指す競技団体等に対し、誘致・調査活動及び開催を支援します。



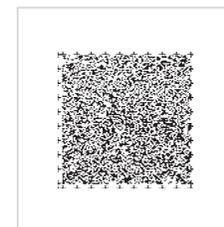
国際スポーツ大会の開催支援

国際大会の誘致に向けた海外発信

国際スポーツ大会の更なる誘致に向け、東京のスポーツ資源と都市の魅力を紹介するPRツールを活用し、ウェブサイトやスポーツ関係者が集まる国際会議等で発信します。



国際大会の誘致に向けた海外発信
キービジュアル



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱3 スポーツでにぎわう

施策① 都内各地でスポーツイベントを開催し、都市に活力をプラス

▶国際スポーツ大会に対する取組

都内におけるパラスポーツ国際大会の開催促進

都民により多くのパラスポーツの観戦機会を提供し、魅力を知っていただくため、都内でパラスポーツ国際大会の開催を目指す競技団体等に支援を行います。

▶関連ページ P.168,221



三井不動産 車いすラグビー SHIBUYA CUP 2024

東京2020大会のレガシーを継承する取組

東京2020大会におけるメダル、聖火リレーのトーチ等の記念品や記録等のアーカイブ資産について、適切に保存・管理、利活用し、大会の意義や感動を確かなレガシーとして、将来に引き継いでいきます。また、第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）の競泳・飛込と馬術の会場が都内2会場（東京アクアティクスセンター、JRA馬事公苑）になることから、東京2020大会の経験を活かしていきます。

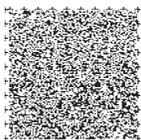
▶関連ページ P.286



都庁舎での東京2020大会アーカイブ展示

国際スポーツ大会の経験をレガシーとして活用したスポーツ大会の運営支援

国際スポーツ大会の開催経験等を活用し、（公財）東京都スポーツ文化事業団と連携・協力しながら、国際スポーツ大会の準備・運営に支援を必要とする競技団体等に対し、知見や資料の提供などを通じた支援の仕組みを具体化していきます。



Japan Sports Journeyにおける情報発信

国内で実施される国際スポーツ大会の機会を活用し、東京以外の会場も含めた各地の観光情報などを発信します。

▶ねんりんピックの東京開催に向けた取組

ねんりんピックの東京開催に向けた取組

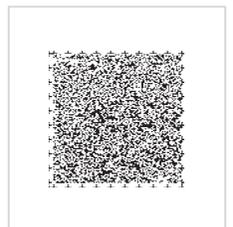
令和10（2028）年に東京で開催される第39回ねんりんピックに向け、区市町村をはじめ関係者と連携し、準備を進めていきます。

▶関連ページ P.279

区市町村スポーツ推進補助事業

急速な高齢化やデジタル化等、スポーツを取り巻く環境が変化する中、誰もがスポーツを「楽しみ」、スポーツを行う「人」が輝くスポーツ振興を実現するため、身近な場でスポーツができる環境の拡大やパラスポーツの普及、令和10（2028）年の第39回ねんりんピックの気運醸成に向けたシニアスポーツ振興の取組など区市町村が実施するスポーツ振興事業に対して補助を行います。

▶関連ページ P.133,166,189,214,277,279



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱3 スポーツでにぎわう

施策① 都内各地でスポーツイベントを開催し、都市に活力をプラス

▶東京マラソンをはじめとする、東京を活性化させるスポーツイベント等の展開

東京マラソンの開催支援

東京の魅力を国内外に発信するとともに、スポーツ振興や地域活性化の契機とすることを目的に、国内外からのランナーをはじめ、ボランティアや沿道の観衆など多くの人々が参加し、「東京がひとつになる日。」として、(一財)東京マラソン財団との共催により東京マラソンを開催します。



©東京マラソン財団

東京マラソン2025 メインビジュアル

ランナー応援イベントの開催

東京マラソンを「単なる大規模マラソンにとどめることなく、東京の魅力を世界に発信できる祭典にしていく」という理念の下、東京マラソンの開催に合わせ、地域の人々が参画したコース沿道応援イベント、メイン会場イベントを展開します。



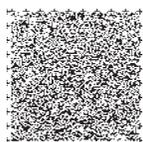
コース沿道からランナーを応援

東京レガシーハーフマラソンの開催支援

東京2020大会のレガシーを末永く残していけるよう、パラリンピックマラソンコースを活用した「東京レガシーハーフマラソン」を、(一財)東京マラソン財団との共催により開催します。



©東京マラソン財団
東京レガシーハーフマラソン2023 フィニッシュ



東京レガシースタジアムの開催

東京レガシーハーフマラソンの開催趣旨に合わせて、東京のスポーツ文化を「レガシー」として次世代へ継承するために、スポーツ経験や年齢、性別、障害の有無にかかわらず、誰もが楽しめるイベントを開催します。



©東京マラソン財団

東京レガシースタジアム

GRAND CYCLE TOKYOの推進

環境に優しく、健康にも良い自転車を更に身近なものとするため、「GRAND CYCLE TOKYO」プロジェクトとして、様々な自転車に関するイベント等を進めます。

東京2020大会で様々な競技が開催された臨海部では、そのレガシーを継承し、自転車ライドイベントの「レインボーライド」、子供から大人まで様々なスポーツ体験が楽しめるイベント「マルチスポーツ」を開催します。

また、多摩地域においては、東京2020大会の自転車ロードレースが開催されたことから、そのレガシーを未来につなぐため、自転車ロードレース「THE ROAD RACE TOKYO」などを開催します。



THE ROAD RACE TOKYO

▶関連ページ P.285

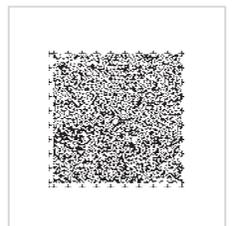
パラスポーツ普及啓発プロジェクト「TEAM BEYOND」

次代を担う子供たちが、楽しみながらパラスポーツの魅力を体感できるイベント「BEYOND STADIUM」を開催します。イベントでは、障害のある人とない人がパラスポーツの真剣勝負を通じて交流し、相互理解につなげるためのポッチャ大会も実施します。

▶関連ページ P.128,131,165,168,169,220,221,244



BOCCIA BEYOND CUP



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱3 スポーツでにぎわう

施策① 都内各地でスポーツイベントを開催し、都市に活力をプラス

▶ 多様なスポーツイベントの開催

スポーツの日記念イベントの開催

スポーツの場を東京の至る所に拡げることを目的に、誰もが気軽に参加できるスポーツイベントを開催します。

▶ 関連ページ P.131,285

TOKYO ROKUTAI FESの開催

6時間耐久リレーマラソンやランニングイベントなど、既存のランナーだけでなく、これからランニングやスポーツを始めたい人など多くの人に参加できるランニングフェスを開催します。
また、ランニングの楽しさを再発見し、仲間や家族とともにスポーツに親しむ場を提供します。

ウォーキングイベントの開催

都内の名所を巡る「TOKYOウォーク」をはじめ、大腸がん検診普及のための「Tokyo健康ウォーク」、水道水源等への理解を深める「玉川上水ウォーキング」など様々な切り口で、楽しみながら都内を歩くことのきっかけを創出していきます。

▶ 関連ページ P.131,285

東京2020大会レガシー継承事業

JOC、JPC及び競技団体と連携して、東京2020大会のレガシーを着実に継承するためのイベントを開催します。

▶ 関連ページ P.132



スポーツフェスタ2024



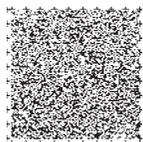
TOKYO ROKUTAI FES



TOKYOウォーク2024



東京2020大会メモリアルデーイベント



パラスポーツメモリアルイベントの開催

パラリンピックやデフリンピックを記念したメモリアルイベントを開催し、デフスポーツを含むパラスポーツの関心を一層高めていくとともに、スポーツの魅力発信やスポーツを通じた相互理解を促進し、共生社会の実現につなげていきます。

▶ 関連ページ P.165



パラ競技デモンストレーション

プロスポーツチーム等との連携

スポーツの楽しさやスポーツを始めるきっかけを醸成するため、プロスポーツチーム等と連携し、東京都とプロスポーツチーム等双方の強みを生かした事業を実施します。

▶ 関連ページ P.131,243



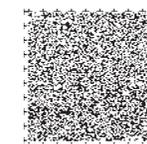
プロスポーツチーム等との連携事業

▼
フィルム
COLUMN



TOKYO UNITE

TOKYO UNITEとは、東京をホームタウンとする15のスポーツチーム・団体が協力し合い、新たな価値を生み出すプロジェクトであり、「一人でも多くの子どもたちにスポーツをする機会と、無限の可能性を提供」することや、「東京を世界でもっともエネルギーに満ちた都市」にすることを目標として活動しています。東京のスポーツ観戦をより楽しいものにするために、チーム同士のコラボレーションや共同でのプロモーションにより、ファンが通年でスポーツを楽しめる環境づくりを行ったり、スポーツの体験イベントなどを開催し、子どもたちがスポーツをできる環境、機会を広げたりしています。東京都が取り組む「こどもスマイルムーブメント」にも参画をしています。



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱3 スポーツでにぎわう

施策① 都内各地でスポーツイベントを開催し、都市に活力をプラス

▶ 多様なスポーツイベントの開催

都立スポーツ施設を活用したスポーツイベント等の展開

多様な特性を持つ都立スポーツ施設の強みと各施設管理者のノウハウを最大限生かし、スポーツ振興のための様々なイベントやアクティビティ等について、多様なメニューを展開し、スポーツを通じた都民のウェルビーイングの向上に貢献していきます。

▶ 関連ページ P.132,224

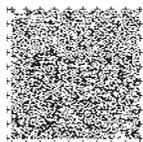


東京体育館での
車いすバスケットボール体験会

多彩なスポーツの取組を通じた交流機会の提供

スポーツと多様な分野（音楽、食事など）を掛け合わせたバラエティに富んだ取組やスポーツ観戦、社会参加の情報発信等を通じてスポーツを楽しんでもらえるよう、地域や関係団体等と連携し、検討していきます。

▶ 関連ページ P.132,189



▶多摩・島しょの自然等を活用したスポーツの振興

東京の自然を満喫できるウォーキングマップ等の利用促進

史跡等の名所を巡りながら都内の自然を満喫できる様々なウォーキングマップ等を、区市町村と連携しながら作成し、都民に積極的に利用してもらえるよう、東京都のポータルサイトにおいて幅広く発信していきます。



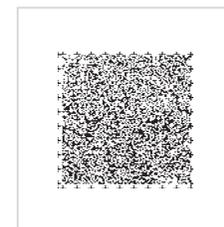
誰もが訪れる自然公園の実現

都内の自然公園を、自然を守るだけでなく、自然についての知識を深めたり、健康やレクリエーションのために自然と触れ合う場として都民に利用してもらえるよう、ビジターセンターの機能強化やウェブサイト等の活用により情報を発信していきます。

また、高齢者や障害のある人なども含め内外の多くの人々が訪れやすくなるよう、登山道の整備やトイレの洋式化、多言語対応の推進などにより、安全・安心・快適な利用環境を確保します。



ウェブサイトによる情報発信



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱3 スポーツでにぎわう

施策① 都内各地でスポーツイベントを開催し、都市に活力をプラス

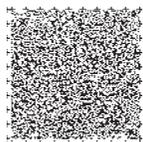
▶多摩・島しょの自然等を活用したスポーツの振興

「たまリバー50キロ」の利用促進

多摩川の河川敷等を利用して、ウォーキング、ランニング、散策が楽しめるコース「たまリバー50キロ」について、国や区市と連携し、コースへアクセスする最寄駅を追加した案内マップの配布を行うなどの利用促進を図ります。

島しょ地域の観光振興への支援

島しょ地域において、各島がその個性的な魅力を生かして主体的に取り組むサーフィン大会などの観光振興事業に対して支援を行います。





施策②

住み慣れた地域でのスポーツをサポート

現状と課題

地域におけるスポーツの担い手との連携

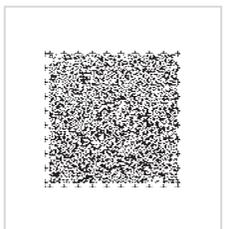
地域スポーツクラブは、地域住民が主体的に運営し、子供から高齢者、障害のある人を含め、誰もが身近にスポーツに親しむことができる場であるとともに、地域コミュニティの役割も期待されるものであり、地域スポーツの推進に欠くことのできない存在です。

また、スポーツ推進委員も各区市町村のスポーツ振興の重要な担い手です。

その他、地区体育・スポーツ協会やスポーツ少年団をはじめ、地域におけるスポーツ関係団体等の様々な資源と連携し、都民が身近な地域でスポーツ活動ができる機会を確保していくことが必要です。

今後の方向性

- 地域スポーツクラブやスポーツ関係団体等と連携し、身近な地域でのスポーツの機会の充実を図り、スポーツを通じて地域の活性化につなげていきます。



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱3 スポーツでにぎわう

施策② 住み慣れた地域でのスポーツをサポート

具体的な取組

▶地域スポーツの推進

地域スポーツクラブの設立・育成・運営支援

地域の日常的なスポーツ活動の場として、都民の誰もが参加できる地域スポーツクラブの設立と、安定した活動を支援します。

▶関連ページ P.239,288

総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の運用

令和4（2022）年度から全国で開始となった「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」について、東京都においても運用します。

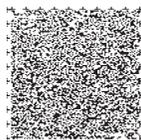
▶関連ページ P.239,288

東京都地域スポーツクラブサポートネットによる情報提供

（公財）東京都スポーツ協会（T S P O）が運営している「東京都地域スポーツクラブサポートネット」において、地域スポーツクラブの設立及び活動を支援するための情報を提供するとともに、地域スポーツクラブについて詳しく知りたい方や、クラブに参加したい方に都内クラブの情報を提供していきます。



▶関連ページ P.139,239



登録クラブの活用促進

「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」の普及啓発・理解促進及び登録クラブの活用促進のため、区市町村に対し研修会等を実施します。

▶ 関連ページ P.240,288

スポーツ推進委員の役割や活動内容の紹介

スポーツ推進委員の役割や活動内容を広く都民に周知するため、各区市町村のスポーツ推進委員を「スポーツTOKYOインフォメーション」等で紹介します。

▶ 関連ページ P.240

スポーツ推進委員研修会等の開催

地域におけるスポーツ推進委員活動の充実及び資質の向上並びに広域的な連携・協調を図ることで、都内の地域スポーツの振興に資する人材の育成を行います。

▶ 関連ページ P.235,240,287

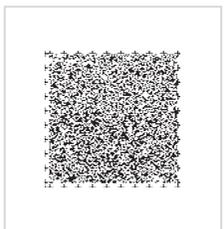
地域のスポーツ振興に向けた関係者会議

持続可能な地域におけるスポーツ環境を整備するため、会議を設置し、地域の実情に応じた新たな担い手の確保やスポーツ関係団体との連携、部活動の地域連携・地域移行に関すること等について議論します。

▶ 関連ページ P.242,288



東京都地域スポーツ支援研修会



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱3 スポーツでにぎわう

施策② 住み慣れた地域でのスポーツをサポート

▶ 地域スポーツの推進

区市町村スポーツ推進補助事業

急速な高齢化やデジタル化等、スポーツを取り巻く環境が変化する中、誰もがスポーツを「楽しみ」、スポーツを行う「人」が輝くスポーツ振興を実現するため、身近な場でスポーツができる環境の拡大やパラスポーツの普及など区市町村が実施するスポーツ振興事業に対して補助を行います。

▶ 関連ページ P.133,166,189,203,277

パラスポーツ地域サポート事業

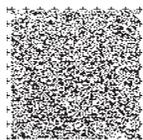
パラスポーツ事業のノウハウを持つアドバイザーが、区市町村や地域スポーツクラブ等を訪問し、事業の企画・実施を支援するほか、指導者等のコーディネートや用具の貸与を通じて、身近な地域でスポーツを楽しめる環境づくりを図ります。

また、区市町村間で現状の取組状況や課題についての意見交換、スポーツと医療・福祉等の他分野との連携事例の共有を行うパラスポーツ地域ブロック関係者連絡会議を実施します。

▶ 関連ページ P.134,170,282



パラスポーツ用具の貸出し



都立特別支援学校活用促進事業

障害のある人や障害者スポーツ団体等が身近な地域でスポーツ活動ができるよう、都立特別支援学校の体育施設をパラスポーツの拠点の一つと位置付け、学校教育活動に支障のない範囲で開放し、活用を促進します。

また、事業実施校において、障害の有無にかかわらず誰もが参加できるパラスポーツやスポーツ・レクリエーションの体験教室を実施します。

▶ 関連ページ P.135,141,171,229,281



体験教室（聴覚障害者卓球）

障害児・者の運動習慣定着支援事業

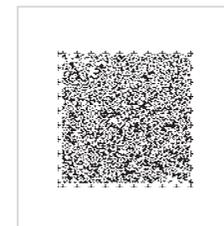
障害のある人が日中に滞在している福祉施設や放課後等デイサービスなどに指導者を派遣し、利用者の障害種別や程度等に応じた運動プログラムを定期的の実施することで、身体を動かすことの習慣化を図ります。

さらに、福祉施設等の近隣の体育館等でも運動プログラムを実施することで、地域の中で日常的に運動を楽しむきっかけを提供します。

▶ 関連ページ P.134,141,172,282



福祉施設内での運動プログラムの実施



パラスポーツセミナーの開催

区市町村職員やスポーツ推進委員、医療福祉関係者等を対象にセミナーを開催し、パラスポーツ事業実施のきっかけづくりや好事例の共有・普及を図り、身近な地域におけるパラスポーツ振興のキーパーソンの育成を図ります。

▶ 関連ページ P.174,235,283



パラスポーツセミナー

初級・中級パラスポーツ指導員養成講習会

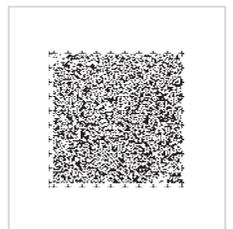
スポーツ推進委員や公立スポーツ施設職員等を対象に、JPSA公認初級パラスポーツ指導員養成講習会を開催し、地域のパラスポーツの現場で、障害のある人のスポーツ参加のきっかけ作りを支援する人材を育成・確保します。

また、初級パラスポーツ指導員を対象に、中級パラスポーツ指導員養成講習会を開催し、地域のパラスポーツ活動におけるリーダーとして、専門的な知識と技術、経験に基づきパラスポーツの普及振興を支える人材を育成・確保します。

▶ 関連ページ P.174,236,283



パラスポーツ指導員養成講習会



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱3 スポーツでにぎわう

施策② 住み慣れた地域でのスポーツをサポート

▶ 地域や経済の活性化に寄与した人・団体の顕彰

スポーツ功労者の顕彰

スポーツ・レクリエーションの普及・振興に関し、顕著な功労のあった人及び団体に対して表彰等を行います。

▶ 関連ページ P.236



令和6年度東京都スポーツ功労賞表彰式

東京都スポーツ推進企業認定制度の運営

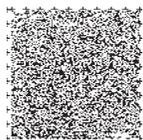
従業員のスポーツ活動を推進する取組や、スポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業等を「東京都スポーツ推進企業」として認定し、特に先進的な取組等を行っている企業等を、「東京都スポーツ推進モデル企業」として表彰します。

また、推進企業の取組を広く発信し、より多くの企業に波及させるウェブサイトを経営するとともに、スポーツインストラクター等の派遣事業により、企業の取組を支援します。

▶ 関連ページ P.147,243



東京都スポーツ推進企業認定マーク





施策③

スポーツの魅力を発信し、
スポーツを通じて感動を
味わう

現状と課題

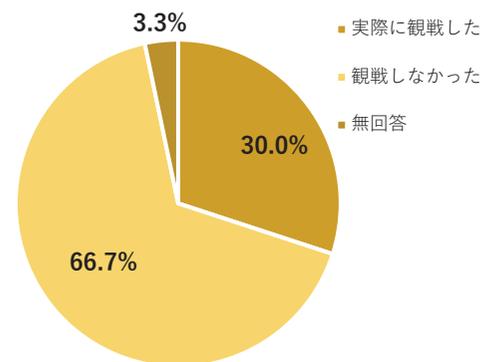
スポーツ観戦の効果

スポーツをみることには、**楽しみや喜び**を感じたり、**気分転換やストレス解消**といった効果があります。また、直接スタジアムなどへ出向いて観戦することによって、多くの**観客と興奮や感動を共有**することができます。さらに、入場料や飲食費、関連商品の売上げを通じて、**経済の活性化**にも寄与します。

スポーツ観戦した都民は30.0%

令和6（2024）年に実施した「都民のスポーツ活動に関する実態調査」によると、**スポーツを直接観戦した都民の割合は30.0%**とコロナ禍にあった令和3（2021）年の21.9%から**回復傾向**にあるものの、本計画における達成指標50%には及んでいません。スポーツの魅力を発信し、**都民のスポーツ観戦の機会を更に増やす**ための取組を進めていくことが重要です。

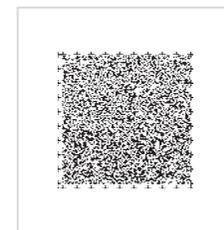
この1年間のスポーツ観戦の有無



図表出典：「令和6年度 都民のスポーツ活動に関する実態調査」（2025年3月、生活文化スポーツ局）を基に作成

今後の方向性

- **様々なスポーツの魅力発信**や、都内で開催するスポーツイベント等を活用した**競技の観戦機会を創出**していきます。



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱3 スポーツでにぎわう

施策③ スポーツの魅力を発信し、スポーツを通じて感動を味わう

具体的な取組

▶スポーツの魅力発信

スポーツTOKYOインフォメーションの運営

東京都のスポーツ情報サイト「スポーツTOKYOインフォメーション」を通じて、東京のスポーツイベント、大会観戦・応援情報、スポーツ施設や行政情報などを発信し、多くの人々にスポーツへの関心を高めてもらいます。

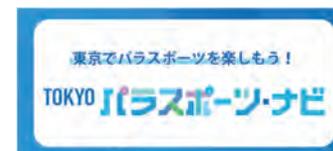
▶関連ページ P.127,133,165,243



パラスポーツ専門ポータルサイトTOKYOパラスポーツ・ナビの運営

障害のある人やパラスポーツを支える人を対象に、都内のパラスポーツイベント情報や、公共スポーツ施設のバリアフリー情報等を発信するスポーツ専門ポータルサイト「TOKYOパラスポーツ・ナビ」を運営します。

▶関連ページ P.127,133,165



様々なスポーツ大会への支援

東京で開催される様々なスポーツの国際大会や国内大会について、必要に応じて東京都が共催又は後援等の手法により開催を支援します。

パラスポーツ普及啓発プロジェクト「TEAM BEYOND」

東京2020パラリンピックで高まったパラスポーツへの関心や応援の気運を更に高め、レガシーとして未来につないでいくため、パラスポーツのファンやサポーターを増やし、パラスポーツが社会に根付いていくよう、SNS等を活用した情報発信や体験会の開催を行うなど、パラスポーツを身近に感じてもらうための総合的なプロジェクトを展開します。

▶関連ページ P.128,131,165,168,169,205,221,244



© WST Japan by World Skate
World Skateboarding Tour Tokyo Street
2023 World Championship



▶ 観戦機会の創出

スポーツ大会への都民招待

主催者と連携を図りながら大規模スポーツ大会等やプロスポーツチーム等が主催する試合に都民を招待することにより、スポーツを実際にみる機会を創出します。

▶ 関連ページ P.189



パラスポーツ普及啓発プロジェクト「TEAM BEYOND」

「TEAM BEYOND」のメンバーに、パラスポーツの国際大会等を会場で一体となって観戦・応援する機会を提供することで、競技や選手への関心をより深めてもらい、パラスポーツの理解促進につなげます。

▶ 関連ページ P.128,131,165,168,169,205,220,244



TEAM BEYOND観戦会

都内におけるパラスポーツ国際大会の開催促進

都民により多くのパラスポーツの観戦機会を提供し、魅力を知っていただくため、都内でパラスポーツ国際大会の開催を目指す競技団体等に支援を行います。

▶ 関連ページ P.168,202

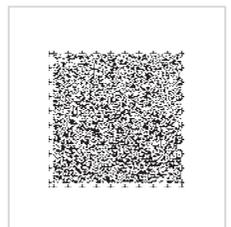
TOKYOパラスポーツチャンネルの配信

都内やその近郊で開催される全国又は国際レベルのパラスポーツ大会をケーブルテレビ等で実況・解説付きで中継・配信し、競技を初めて観る人でも楽しく観戦できる機会を提供します。

▶ 関連ページ P.128,168



三井不動産 車いすラグビー SHIBUYA CUP 2024



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱4 スポーツを支える

目指す政策効果

- 地域等でスポーツの担い手が活躍し、持続可能なスポーツの地盤を構築
- 安全・安心・信頼の下、いつまでもスポーツを楽しめるサステナブルな社会に貢献

施策



施策

① 様々な価値を創出するスポーツ環境の整備・運営や、環境に配慮した施設・大会運営

- ▶ 都立スポーツ施設の整備・運営、都内のスポーツ環境の整備、環境に配慮した施設・大会運営



施策

② 多様な主体と連携し、スポーツを支える人材の裾野を広げる・磨く

- ▶ スポーツを支える人材の確保・育成・活動支援、多様なスポーツを支える基盤づくり、地域におけるスポーツ活動の推進、民間企業とともに取り組むスポーツ活動



施策

③ 安全・安心なスポーツ、信頼されるスポーツ大会の実現

- ▶ スポーツによる事故防止等の推進、暑さ対策、スポーツ・インテグリティの強化、大会のガバナンスの確保

達成指標

都立スポーツ施設が果たしている役割に「満足」と答えた都民（18歳以上）の割合



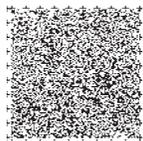
1年間にスポーツを支える活動を行った都民（18歳以上）の割合



スポーツ指導者数



※「スポーツ指導者数」とは、（公財）日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者認定者数、（公財）日本レクリエーション協会の公認指導者登録者数及び（公財）日本パラスポーツ協会公認指導者登録者数を合算しています。





施策①

様々な価値を創出する スポーツ環境の整備・ 運営や、環境に配慮した 施設・大会運営

現状と課題

東京のスポーツインフラのポテンシャルを最大化

東京2020大会を契機に、都立スポーツ施設の整備や、身近なスポーツの場の整備が進み、東京のスポーツインフラはバージョンアップしました。都立スポーツ施設を適切に管理運営し、利用促進を図るとともに、各施設の特性を生かし多様な価値を提供することで、これらの施設が持つポテンシャルを最大限発揮していくことが求められています。

また、老朽化した施設の改修のほか、誰もが利用しやすい施設に向けた取組が求められています。

スポーツを身近でできる場の確保

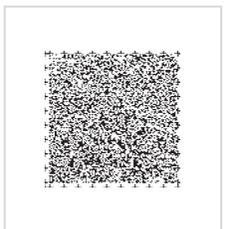
都民が身近な場所でスポーツを実施できる場を確保していくためには、区市町村のスポーツ施設についても有効活用が図られるよう、区市町村と連携していく必要があります。加えて学校等が所有しているスポーツ施設を有効活用していくことも必要です。

環境に配慮した施設・大会運営

持続可能な社会の実現に寄与するため、施設運営や大会運営において環境に配慮した取組が重要です。

今後の方向性

- スポーツ施設等の整備・運営やデジタル技術の活用を通じて、スポーツ実施を支える環境の更なる充実を図っていくとともに、多様な価値を提供し、都民のウェルビーイング向上に寄与していきます。
- 身近な場所でスポーツに親しめるよう、スポーツの場の確保を一層促進していきます。



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱4 スポーツを支える

施策① 様々な価値を創出するスポーツ環境の整備・運営や、環境に配慮した施設・大会運営

具体的な取組

▶ 都立スポーツ施設の管理運営

都立スポーツ施設の管理運営

都立スポーツ施設について、各施設の強みや民間事業者のノウハウ等を活用することで、スポーツやエンターテインメントなど多様な価値を提供していきます。

▶ 関連ページ P.280,286

東京辰巳アイスアリーナの開業・運営

令和7（2025）年9月に開業する東京辰巳アイスアリーナは、都立初の通年アイスリンク施設として国際大会を含む競技大会や競技力向上の場として活用するとともに、都民が気軽に利用できる施設として、氷上スポーツの裾野を広げ、広く親しまれる施設を目指していきます。

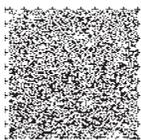


東京辰巳アイスアリーナ ※令和7（2025）年9月開業予定

都立スポーツ施設を活用したスポーツイベント等の展開

多様な特性を持つ都立スポーツ施設の強みと各施設管理者のノウハウを最大限生かし、スポーツ振興のための様々なイベントやアクティビティ等について、多様なメニューを展開し、スポーツを通じた都民のウェルビーイングの向上に貢献していきます。

▶ 関連ページ P.132,208



東京体育館での車いすバスケットボール体験会

都立スポーツ施設の戦略的活用

企業などへのアプローチにより「TOKYOスポーツ施設コンシェルジュ」の発信力を強化し、18施設の一体的なプロモーションを実施するとともに、スポーツ中継の配信や人気コンテンツとのコラボ企画の展開など、多様なコンテンツの提供を通じて、18施設の認知度向上・利用促進につなげていきます。



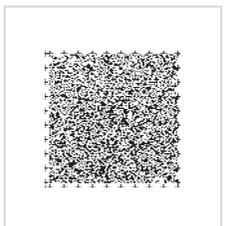
▶ 関連ページ P.286

広域避難先、一時滞在施設等としての役割

都立スポーツ施設は、自治体の要請や施設の特性に基づいて、広域避難先や一時滞在施設等に指定されています。災害時は地域の防災拠点としての役割を果たし、地域の安全・安心に貢献します。



東京体育館における備蓄品



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱4 スポーツを支える

施策① 様々な価値を創出するスポーツ環境の整備・運営や、環境に配慮した施設・大会運営

▶ 都立スポーツ施設の整備

都立スポーツ施設の大規模改修

都立スポーツ施設について、老朽化した施設の改修、ユニバーサルデザインの導入、環境負荷の一層の低減等の取組を計画的に進め、施設の機能性や利便性を高めていきます。

▶ 関連ページ P.182

誰もが利用しやすい施設環境の整備推進

「Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン」や、東京2025デフリンピックを契機に整備を進めたアクセシビリティ設備のノウハウを、今後の大規模改修等にも反映します。

▶ 関連ページ P.200

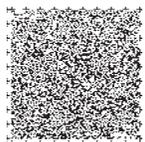
多言語対応の推進

誰もが暮らしやすい社会の実現に向けて、外国人も安心して都立スポーツ施設を利用できるよう、各施設における多言語対応を推進していきます。

▶ 関連ページ P.183



アクセシビリティ設備の例
(光警報装置)



▶スポーツを身近でできる場の確保

区市町村等のスポーツ施設の整備支援

区市町村のスポーツ環境の拡充に向け、ユニバーサルデザイン化の推進、暑さ対策、学校施設の市民開放などの施設の改修整備に係る取組を支援します。

▶ 関連ページ P.182,277

スポーツ案内サイト「SPOPITA」の運営

公民含めた3,000を超える都内のスポーツ施設について、検索の利便性の向上や、各施設情報・予約方法等の紹介により、施設を利用しやすい環境を整備していきます。

▶ 関連ページ P.127

継続的なスポーツ機会の創出・提供

デジタル技術等を活用し、これまではスポーツの場として使用されていない場所や空間を新たなスポーツの場として創出します。

また、チームや学校等の所属にとらわれず、多様なスポーツを気軽に実施できる場所を増やすため、多様な主体と連携して切れ目のないスポーツ参加機会を提供していきます。

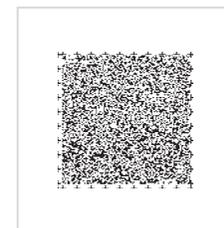
▶ 関連ページ P.142

都内公立学校体育施設の開放

学校教育活動に支障のない範囲で、都立学校の体育施設を広く開放し、都民のスポーツ活動の振興に資するとともに、地域に開かれた学校づくりを促進していきます。

なお、公立小・中学校の開放については、設置者である区市町村が、各教育委員会の判断の下、実施していきます。

▶ 関連ページ P.135



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱4 スポーツを支える

施策① 様々な価値を創出するスポーツ環境の整備・運営や、環境に配慮した施設・大会運営

▶スポーツを身近でできる場の確保

都立公園のスポーツ施設における利用時間及び利用日の拡大

都立公園のスポーツ施設において、都民の利用機会の向上を図るため、年末利用日を拡大するとともに、通年の夜間利用の実施を継続していきます。

▶関連ページ P.136



都立公園のスポーツ施設における利用時間の拡大

都立公園陸上競技場の改修

より多くの方が気軽にスポーツに親しめるよう、都立公園陸上競技場などの施設改修を実施します。

ウォーキング環境の整備

河川沿いの通路整備や隅田川テラスにおけるウォークアブルな水辺空間の創出を図るとともに、海上公園内にウォーキングルート等を整備し、仕事帰りや休日にスポーツを楽しむことができる環境を整備していきます。

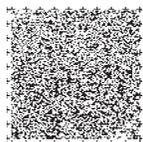
▶関連ページ P.136



新木場緑道公園

スポーツ拠点の整備と活用

既存施設の活用を進めるとともに、神宮外苑地区においては、民間事業者が主体となり、多様な人が利用できる施設や空間を新たに創出することで、誰もが日常的にスポーツに親しめる環境の形成を目指します。



▶ パラスポーツを身近でできる場の確保

障害者のスポーツ施設利用促進事業

障害のある人が身近な地域のスポーツ施設をより安全で快適に利用できるようにするため、区市町村や民間のスポーツ施設において、施設管理者が配慮すべきポイントを掲載した「障害者のスポーツ施設利用促進マニュアル」の活用を促進します。

また、区市町村スポーツ施設に対して、パラスポーツの専門知識を有するアドバイザーを派遣し、施設のニーズや状況に合わせて、障害のある人のスポーツ施設の利用促進に向けた支援を実施します。

▶ 関連ページ P.135,171,216,281



都立特別支援学校活用促進事業

障害のある人や障害者スポーツ団体等が身近な地域でスポーツ活動ができるよう、都立特別支援学校の体育施設をパラスポーツの拠点の一つと位置付け、学校教育活動に支障のない範囲で開放し、活用を促進します。

また、事業実施校において、障害の有無にかかわらず参加できるパラスポーツやスポーツ・レクリエーションの体験教室を実施します。

▶ 関連ページ P.135,141,171,215,281



体験教室（車いすテニス）

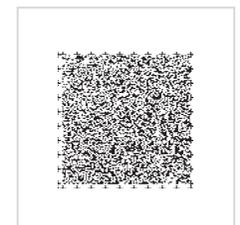
障害者スポーツセンター、パラスポーツトレーニングセンターの運営

都内に2か所ある障害者スポーツセンターにて障害のある人へスポーツ・レクリエーション活動の場を提供するとともに、パラスポーツトレーニングセンターにてパラスポーツの競技力向上の場を提供するなど、パラスポーツの普及振興を図ります。

▶ 関連ページ P.172,280



東京都障害者総合スポーツセンター



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱4 スポーツを支える

施策① 様々な価値を創出するスポーツ環境の整備・運営や、環境に配慮した施設・大会運営

▶環境に配慮した施設・大会運営

都立スポーツ施設における環境配慮の取組

都立スポーツ施設では、環境配慮の取組として、設備の高効率化による施設の省エネルギー化や太陽光発電等の再生可能エネルギー設備、電気自動車等のための充電設備の整備を実施しています。持続可能なスポーツ環境の実現に向けて、環境負荷の低減に取り組めます。

大会時における環境先進技術の活用・発信

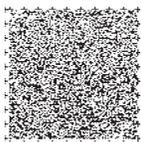
東京2025世界陸上開催時、会場周辺における次世代型ソーラーセルの活用や、廃食用油回収キャンペーン展開によるSAF（持続可能な航空燃料）のPR実施など、環境先進技術の活用・発信に取り組んでいきます。

大会時における環境への配慮

東京2025世界陸上・東京2025デフリンピックを環境に配慮したエコでコンパクトな大会にするため、省エネルギーの徹底や3Rの推進などに取り組むとともに、それらの取組を広く国内外へ発信していきます。



東京アクアティクスセンターに設置された太陽光発電パネル





施策②

多様な主体と連携し、 スポーツに関わる人材の 裾野を広げる・磨く

現状と課題

スポーツを支える活動とは

スポーツを支える活動には様々なものがあります。
 (1) **スポーツ指導者**（コーチ、監督、インストラクター等）として選手の育成や参加者の指導等を行う、
 (2) **審判員**として競技の進行や判定を行う、
 (3) **地域のスポーツクラブ**や**スポーツ教室**の運営等を行う、
 (4) **保護者**として子供たちのスポーツ活動の見守りや送迎等を行う、
 (5) **スポーツボランティア**としてスポーツイベントの運営等をサポートする、
 (6) **募金**や**チャリティ**を通じてスポーツ活動を支える、
 (7) **サポーター**として選手やチームを応援する、
これらは全てスポーツを支える活動です。

スポーツを支える活動は、選手と同じように**感動**や**興奮を得ることができる**とともに、**選手や他の支える人と強固な関係を築くことができ**、何よりも選手の勝利や大会の成功に寄与したという**誇りを感じられる**ものです。

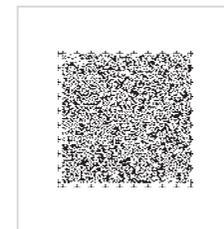
また、様々な**スポーツ指導者資格**の中から自らに合った資格を取得し、**指導者としてレベルを高め**ていくなど、活動の深化を通じて**自己実現**にもつながります。

スポーツを支える人材の確保と質の向上

令和6（2024）年に実施した「都民のスポーツ活動に関する実態調査」によると、**スポーツを「支える」活動を実施した都民の割合は17.3%**と横ばいの状況です。

また、競技団体（J S P O加盟NF・準加盟団体）に対し、競技における審判・競技スタッフ・指導者などの人材確保上の課題を尋ねた調査結果*によると、多くの団体が**高齢化**とそれに伴う**若い世代の確保**を挙げています。高齢化などの社会状況に対応し、**スポーツを支える人材の確保や質の向上**を図っていくことが重要です。

*「競技大会を支える人材とその活用状況に関する調査報告書」（2019年10月、（公財）日本スポーツ協会、（公財）笹川スポーツ財団）参照



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱4 スポーツを支える

現状と課題

この1年間に関わったスポーツを支える活動の有無



※『活動した(計)』は「活動していない」「わからない」以外の選択肢を選んだ人の割合
 図表出典：「都民のスポーツ活動に関する実態調査」（生活文化スポーツ局）

地域におけるスポーツ活動

地域におけるスポーツ活動を推進していくことは、**都民のスポーツ活動の習慣化**につながるだけでなく、**人と人との交流を促進し、地域の活力を醸成**していくことにもつながります。

しかし、多くの競技団体や地域スポーツクラブなどスポーツを支える地域の団体・組織は、**高齢化**や**人材不足**、**組織体制のせい弱さ**など課題を抱えているのが現状です。それぞれの団体・組織が、その役割を十分に果たせるよう、**組織基盤を確立・強化するための取組を支援**していくことが重要です。

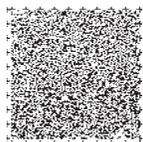
また、**部活動の地域連携・地域移行の進展**に伴い、**地域におけるスポーツ実施体制の構築**が急務です。

民間企業とともに取り組むスポーツ活動

令和6（2024）年に実施した「都民のスポーツ活動に関する実態調査」によると、**20代から40代の「働き盛り世代」のスポーツ実施率は、他世代と比べて低くなっています。**職域でのスポーツ実施のための取組のほか、スポーツ振興に向けて民間企業の積極的な参画を促すことも重要です。また、都民の「みる」「応援する」というスポーツへの関わり方を支援していくために、**プロスポーツチームなどとの連携**も重要です。

今後の方向性

- **スポーツを支える担い手の高齢化**や**部活動の地域連携・地域移行の社会状況の変化**に対応するため、**担い手の確保・育成**や**地域におけるスポーツ活動への支援、団体基盤の強化**等を図っていきます。
- スポーツの「する・みる・支える・応援する」を一層促進するため、スポーツ振興の取組に**民間企業の積極的な参画**を促します。



施策② 多様な主体と連携し、スポーツに関わる人材の裾野を広げる・磨く

具体的な取組

▶ ボランティア活動の支援

スポーツイベントにおける活動機会の提供

東京2020大会を契機に高まったボランティア気運を大会後も着実に維持・継続するため、競技団体等が実施する大会やイベントにおける活動機会を提供します。

さらに、東京2025世界陸上・東京2025デフリンピックのボランティアに対しても、情報ポータルサイトへの登録を促し、活動機会の提供を図ることで、ボランティア文化の定着を一層促進します。

パラスポーツ人材の活動活性化事業

パラスポーツボランティアポータルサイト「TOKYO 障スポ&サポート」を通じて、ボランティア人材にイベント等の情報を提供し活動機会の拡充を図ります。あわせて、ボランティア活動に役立つ学びの場として、講習会の実施や、e-learning講座の発信などを行い、活動を促進します。

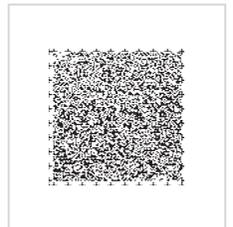
▶ 関連ページ P.175,236



東京2020大会時の学校連携観戦におけるボランティア活動



ボランティア講習会



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱4 スポーツを支える

施策② 多様な主体と連携し、スポーツに関わる人材の裾野を広げる・磨く

▶ ボランティア活動の支援

ボランティア文化定着に向けた取組

東京ボランティアレガシーネットワーク（事務局：（公財）東京都つながり創生財団）を運営し、ボランティアの募集情報や読み物記事等を通じてスポーツをはじめとする幅広い分野のボランティア情報を発信するほか、登録者同士が交流できる場を創出しています。

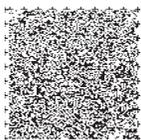
また、イベントや活動分野別のセミナーを開催し、機運醸成を図っています。

これらの取組を通じ、ボランティアの裾野拡大や活動の継続拡大を進めていきます。



東京都立大学におけるボランティア活動の支援

東京都立大学ボランティアセンターにおけるボランティア活動の支援等、次世代を担う若い世代がボランティア活動を体験し、貴重な経験を得ることができるよう取組を推進していきます。



▶ 地域スポーツやパラスポーツを支える人材育成・顕彰

スポーツ推進委員研修会等の開催

地域におけるスポーツ推進委員活動の充実及び資質の向上並びに広域的な連携・協調を図ることで、都内の地域スポーツの振興に資する人材の育成を行います。

▶ 関連ページ P.213,240,287



東京都地域スポーツ支援研修会

生涯スポーツ担当者研修会の開催

生涯スポーツ社会の実現に資することを目的として、生涯スポーツに関する行政及びスポーツ団体の関係者に対し、東京都のスポーツ振興における問題意識を共有し、関係者相互の連携を強化します。

▶ 関連ページ P.287



東京みんなのスポーツ塾

東京みんなのスポーツ塾

ルールや技術が比較的簡単で、誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの普及に向けた指導者を育成するため、競技種目別に、指導者によるルール解説や競技方法の指導、実践練習、試合を実施します。

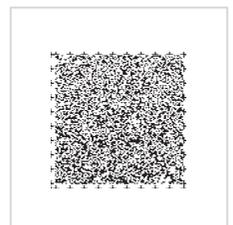
パラスポーツセミナーの開催

区市町村職員やスポーツ推進委員、医療福祉関係者等を対象にセミナーを開催し、パラスポーツ事業実施のきっかけづくりや好事例の共有・普及を図り、身近な地域におけるパラスポーツ振興のキーパーソンの育成を図ります。

▶ 関連ページ P.174,217,283



パラスポーツセミナー



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱4 スポーツを支える

施策② 多様な主体と連携し、スポーツに関わる人材の裾野を広げる・磨く

▶地域スポーツやパラスポーツを支える人材育成・顕彰

初級・中級パラスポーツ指導員養成講習会

スポーツ推進委員や公立スポーツ施設職員等を対象に、JPSA公認初級パラスポーツ指導員養成講習会を開催し、地域のパラスポーツの現場で、障害のある人のスポーツ参加のきっかけ作りを支援する人材を育成・確保します。

また、初級パラスポーツ指導員を対象に、中級パラスポーツ指導員養成講習会を開催し、地域のパラスポーツ活動におけるリーダーとして、専門的な知識と技術、経験に基づきパラスポーツの普及振興を支える人材を育成・確保します。

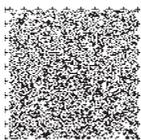
▶関連ページ P.174,217,283

パラスポーツ人材の活動活性化事業

活動経験の少ないパラスポーツ指導員等を対象にした「リ・スタート研修会」や「地域事業参加型指導員育成事業」、パラスポーツを支える人材に活動に関する最新の情報提供を行う「パラスポーツフォーラム」を開催し、パラスポーツ人材の資質向上を図ります。

▶関連ページ P.175,233

スポーツ功労者の顕彰



スポーツ・レクリエーションの普及・振興に関し、顕著な功労のあった人及び団体に対して表彰等を行います。

▶関連ページ P.218



パラスポーツ指導員養成講習会



リ・スタート研修会



令和6年度東京都スポーツ功労賞表彰式

▶ 多様なスポーツを支える基盤づくり

競技団体等組織基盤強化支援事業

都内で活動する競技団体及び地区体育・スポーツ協会における運営力の向上を図るため、研修会実施・HP改修のための支援や法人格の取得に向けた専門家相談等、団体の組織基盤強化に向けた活動を支援します。さらに、地区体育・スポーツ協会を対象に専門性が高い客観的な視点での会計調査を行うことにより、会計処理の適正化を徹底します。

▶ 関連ページ P.158



パラスポーツ競技活動支援事業

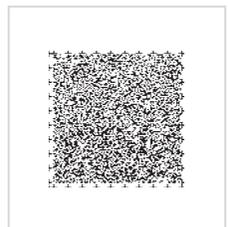
N F が J P C に加盟する競技の都内統括団体等が行う、選手の強化育成や指導者の養成等を目的とした練習会や強化合宿等の活動費を助成し、各団体の競技力向上を図ります。

▶ 関連ページ P.159,177

パラスポーツ団体体制強化支援事業

都内で活動するパラスポーツ競技団体の組織基盤強化及び運営能力向上に向け、国の「スポーツ団体ガバナンスコード」への適合や広報力の強化などを図るため、研修会の実施や、団体運営のアドバイス等を行います。また、助成金申請等に関する事務補助や専門家（弁護士や会計士等）による相談会の実施など、複合的な支援を行います。

▶ 関連ページ P.159,179



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱4 スポーツを支える

施策② 多様な主体と連携し、スポーツに関わる人材の裾野を広げる・磨く

▶多様なスポーツを支える基盤づくり

パラスポーツ団体普及活動支援事業

パラスポーツの普及振興のために活動するパラスポーツ団体に対して、日常の練習や体験会等の事業への助成を行っていきます。

▶関連ページ P.159,179

デフスポーツ競技団体都内活動促進事業

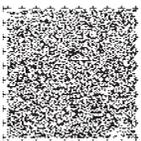
東京2025デフリンピックに向け、デフスポーツの競技力向上とともに、都民のデフスポーツへの関心を高めることを目的として、JPCに加盟するデフスポーツNFが都内で実施する強化合宿や普及啓発活動等に対して支援を行います。

▶関連ページ P.157,177

デフリンピックチャレンジ事業

東京2025デフリンピックに向け、NFが存在しない等の理由により、出場選手の強化・育成が進んでいない競技について、関連団体が都内で行う競技力向上事業や、東京2025デフリンピック出場を目指す東京にゆかりのある選手の競技活動に対して支援を行います。

▶関連ページ P.157,178



▶ 地域スポーツクラブの支援

地域スポーツクラブの設立・育成・運営支援

地域の日常的なスポーツ活動の場として、都民の誰もが参加できる地域スポーツクラブの設立と、安定した活動を支援します。

▶ 関連ページ P.212,288



地域スポーツクラブ交流会

総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の運用

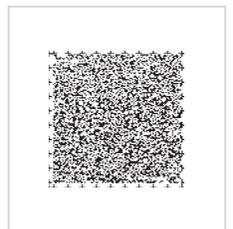
令和4（2022）年度から全国で開始となった「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」について、東京都においても運用します。

▶ 関連ページ P.212,288

東京都地域スポーツクラブサポートネットによる情報提供

（公財）東京都スポーツ協会（TSPO）が運営している「東京都地域スポーツクラブサポートネット」において、地域スポーツクラブの設立及び活動を支援するための情報を提供するとともに、地域スポーツクラブについて詳しく知りたい人や、クラブに参加したい人に都内クラブの情報を提供していきます。

▶ 関連ページ P.139,212



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱4 スポーツを支える

施策② 多様な主体と連携し、スポーツに関わる人材の裾野を広げる・磨く

▶地域スポーツクラブの支援

登録クラブの活用促進

「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」の普及啓発・理解促進及び登録クラブの活用促進のため、区市町村に対し研修会等を実施します。

▶関連ページ P.213,288

スポーツ推進委員研修会等の開催

地域におけるスポーツ推進委員活動の充実及び資質の向上並びに広域的な連携・協調を図ることで、都内の地域スポーツの振興に資する人材の育成を行います。

▶関連ページ P.213,235,287

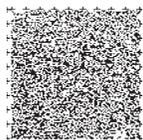
スポーツ推進委員の役割や活動内容の紹介

スポーツ推進委員の役割や活動内容を広く都民に周知するため、各区市町村のスポーツ推進委員を「スポーツTOKYOインフォメーション」等で紹介します。

▶関連ページ P.213



東京都地域スポーツ支援研修会



▶ 部活動の地域連携・地域移行推進のための取組

地域スポーツクラブ活動体制整備事業・文化部活動の地域移行等に向けた実証事業

地域におけるスポーツ・文化芸術活動の運営団体や指導者の確保方策や、費用負担の在り方の整理などの課題に総合的に取り組むために、地域において実践研究を実施し、研究成果を普及・発信します。

▶ 関連ページ P.144

部活動の地域連携・地域移行等に関する支援

令和7（2025）年度末までに、都内全ての公立中学校等で、地域や学校の実態に応じ、地域連携・地域移行に向けた取組が行われていることを目指すとともに、休日に教員が部活動の指導に携わる必要がない環境の構築を、段階的かつ可能な限り早期に実現していきます。

部活動指導員の導入

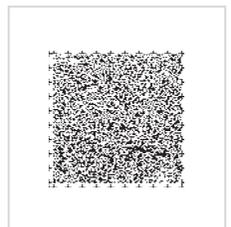
教員に代わって、専門的な技術指導や大会引率等を行うことができる部活動指導員を、引き続き、中学校、高等学校に導入し、教員の勤務負担軽減を図りながら、部活動の充実を図ります。

▶ 関連ページ P.145

運動部活動指導者養成講習会の実施

東京都高等学校体育連盟及び東京都中学校体育連盟と協定を結び、生徒の健全育成という原点に立った指導をより一層推進し、体罰等の許されない指導とあるべき指導の考え方を明確にし、顧問の教員や部活動指導員等の指導力向上を図ります。

▶ 関連ページ P.145



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱4 スポーツを支える

施策② 多様な主体と連携し、スポーツに関わる人材の裾野を広げる・磨く

▶部活動の地域連携・地域移行推進のための取組

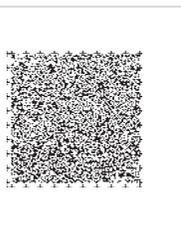
地域のスポーツ振興に向けた関係者会議

持続可能な地域におけるスポーツ環境を整備するため、会議を設置し、地域の実情に応じた新たな担い手の確保やスポーツ関係団体との連携、部活動の地域連携・地域移行に関すること等について議論します。

▶関連ページ P.213,288

指導者資格等取得支援

地域の日常的なスポーツ活動の場である地域スポーツクラブ等に対し、指導者等の資格取得を支援することで、指導者の確保や質の向上を図り、部活動の地域連携・地域移行をはじめとする地域のスポーツ環境の整備や活性化につなげます。



▼
コラム
COLUMN

部活動の地域連携・地域移行

部活動の地域連携とは、学校教育の一環として行われる部活動において、地域の人材を活用した部活動指導員や外部指導者の導入、複数校で実施する合同部活動の導入など、学校で運営・実施しつつも、生徒の活動機会を確保するものです。

一方で、**部活動の地域移行**とは、地域の多様な団体が学校と連携しながら運営・実施する地域クラブ活動によって、部活動を代替して生徒の活動機会を確保するものです。

なお、令和6（2024）年12月に開催された国の「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間取りまとめにおいて、「**地域移行**」という名称が「**地域展開**」に変更されることが取りまとめられました。

▶民間企業等とともに取り組むスポーツ振興

東京都スポーツ推進企業認定制度の運営

従業員のスポーツ活動を推進する取組や、スポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業等を「東京都スポーツ推進企業」として認定し、特に先進的な取組等を行っている企業等を、「東京都スポーツ推進モデル企業」として表彰します。

また、推進企業の取組を広く発信し、より多くの企業に波及させるウェブサイトを経営するとともに、スポーツインストラクター等の派遣事業により、企業の取組を支援します。

▶関連ページ P.147,218



東京都スポーツ推進企業認定マーク

プロスポーツチーム等との連携

スポーツの楽しさやスポーツを始めるきっかけを醸成するため、プロスポーツチーム等と連携し、東京都とプロスポーツチーム等双方の強みを生かした事業を実施します。

▶関連ページ P.131,207

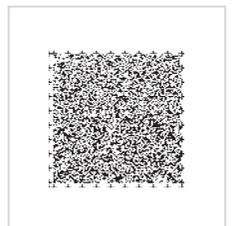


プロスポーツチーム等との連携事業

スポーツTOKYOインフォメーションの運営

東京都のスポーツ情報サイト「スポーツTOKYOインフォメーション」を通じて、東京のスポーツイベント、大会観戦・応援情報、スポーツ施設や行政情報などを発信し、多くの人々にスポーツへの関心を高めてもらいます。

▶関連ページ P.127,133,165,220



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱4 スポーツを支える

施策② 多様な主体と連携し、スポーツに関わる人材の裾野を広げる・磨く

▶民間企業等とともに取り組むスポーツ振興

パラスポーツ普及啓発プロジェクト「TEAM BEYOND」

企業・団体のパラスポーツへの関心を高めるため、参考となる企業の取組事例や支援の方法などを発信します。

また、パラスポーツの普及の担い手を増やすため、パラスポーツ活動の促進や定着に向けたカンファレンス等の取組を実施します。

▶関連ページ P.128,131,165,168,169,205,220,221



TEAM BEYONDカンファレンス

パラスポーツコンシェルジュ事業

パラスポーツを支援したいという民間企業等の意向を選手や競技団体につなぐため、（公社）東京都障害者スポーツ協会（T S A D）に窓口を設けるとともに、障害のある人に対してスポーツに関する情報提供や助言を行います。

また、企業と競技団体間のネットワークの構築及びマッチングを目的とした交流会を開催するとともに、アウトリーチ活動や定期セミナーを実施し、窓口での相談や交流会への参加へとつなげていきます。

▶関連ページ P.179

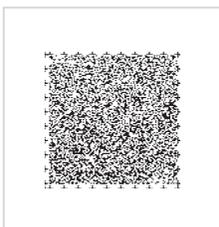


パラスポーツコンシェルジュ事業

マッチングプラットフォーム構築

企業のノウハウ等と競技団体等の課題やニーズをマッチングするプラットフォームにより、パラスポーツへの企業の参画と競技団体の基盤強化を促進します。

▶関連ページ P.159,179



マッチングプラットフォームイメージ図

TOKYO戦略的イノベーション促進事業

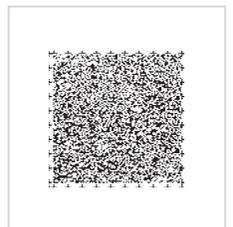
今後成長が期待されている分野における技術開発・市場動向を示した「イノベーションマップ」を策定し、これに沿って中小企業等が、他企業、大学等と連携して行う大規模技術開発とその事業化を支援します。

▶ 関連ページ P.184

シニア・福祉・アクセシビリティ関連製品等の販路開拓助成事業

介護を必要とする高齢者や障害のある人が利用する福祉用具をはじめ、健康で社会活動等に意欲があるアクティブシニア向けの製品・サービス、障害の有無にかかわらず誰でも利用することを目指したパラスポーツ関連製品やアクセシブルデザイン製品等、高齢者や障害のある人を対象とした幅広い製品・サービスについて、国内外への販路拡大を支援していきます。

▶ 関連ページ P.184



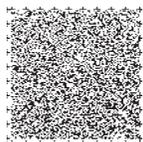
2 柱ごとの施策・取組

政策の柱4 スポーツを支える



施策③

安全・安心なスポーツ、 信頼されるスポーツ大会 の実現



現状と課題

高まる熱中症の危険性

スポーツを実施する人を増やしていくことは、スポーツフィールド・東京の実現に不可欠ですが、**正しい知識を身に付けていない場合、けがや事故につながる恐れがあります。**また、国連が「地球温暖化の時代は終わった。地球沸騰化の時代が到来した」と危機感を示したように、気温の上昇傾向が続いており、**炎天下でのスポーツ実施**による、**熱中症の危険性**が高まっています。

スポーツ・インテグリティ

これまでアスリート等による違法賭博や違法薬物、スポーツ指導者による暴力行為、スポーツ団体での不適切な会計等の**事故**が発生し、**大きな問題**となっています。

安全・安心な大会運営やスポーツ環境の整備

持続的なスポーツ振興のためには、**安全・安心な大会運営やスポーツ環境の整備**を推進していくとともに、**スポーツ団体の適正運営、スポーツ大会の信頼性の確保の取組**を推進していくことが必要です。

今後の方向性

- けがや事故、熱中症の予防など**スポーツ実施環境の安全・安心を確保**していきます。
- スポーツ指導における**暴力行為等の根絶**や、スポーツ大会の**ガバナンス確保**に向けて取り組んでいきます。

施策③ 安全・安心なスポーツ、信頼されるスポーツ大会の実現

具体的な取組

▶ けがや事故、熱中症等の予防推進

熱中症予防の推進

東京都は、スポーツイベント等においてJ S P Oの熱中症予防指針やN Fの策定する熱中症対策ガイドライン等を踏まえ、（公財）東京都スポーツ協会（T S P O）や（公社）東京都障害者スポーツ協会（T S A D）、競技団体等との連携を図りながら熱中症予防を推進します。

また、東京都教育委員会が策定した「熱中症対策ガイドライン」に基づき、学校における体育的活動中や部活動中の熱中症予防を推進していきます。

地域におけるスポーツの事故防止

地域におけるスポーツの重要な担い手であるスポーツ推進委員や、地域スポーツクラブの運営スタッフや指導者等を対象とした研修会において、スポーツによるけがや事故防止等の内容を実施します。

部活動指導者実技講習会の実施

中学校・高等学校の教員や部活動指導員等を対象に講習会を実施し、部活動顧問の役割についての正しい理解と望ましい指導法や技術指導の向上を図るとともに、部活動中の事故に対する基礎的な知識や対応策を身に付け、指導者としての資質向上を図ります。

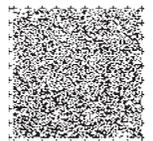
▼ コラム COLUMN

熱中症予防（WBGT）

暑さ指数（WBGT（湿球黒球温度）：
Wet Bulb Globe Temperature）は、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。

暑さ指数（WBGT）は**人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目した指標**で、人体の熱収支に与える影響の大きい①**湿度**、②**日射・輻射など周辺の熱環境**、③**気温**の3つを取り入れた指標です。

（公財）日本スポーツ協会の「**スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック**」によると、**暑さ指数（WBGT）31以上は「運動は原則中止」、28以上31未満は「嚴重警戒（激しい運動は中止）」**などとなっています。



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱4 スポーツを支える

施策③ 安全・安心なスポーツ、信頼されるスポーツ大会の実現

▶ けがや事故、熱中症等の予防推進

スポーツ関係団体への暑さ対策支援

スポーツ関係団体が競技や地域の実情に即して行う暑さ対策物品の購入等を支援します。

都立スポーツ施設における暑さ対策の推進

年々気温が上昇し、熱中症のリスクも高まっていく中で、暑さ指数計等の暑さ対策備品を各施設へ配備するなど、都民が安心して都立スポーツ施設を利用できるよう、対策に取り組んでいきます。

クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）等としての役割

都立スポーツ施設は、自治体の要請や施設の特性に基づいて、クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）やTOKYOクールシェアスポット（涼しさを共有するための場所）となっています。熱中症対策を目的とした適切な休憩場所を提供することで、都民の健康を守ります。

大会時の路上競技沿道における観客の暑さ対策の実施

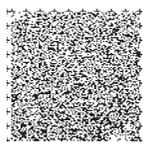
東京2025世界陸上開催時に、路上競技沿道における観客の暑さ対策に取り組んでいきます。



暑さ対策備品の例
(左：暑さ指数計、右：注意喚起パネル)



東京2025世界陸上の路上競技沿道における観客の暑さ対策
(イメージ)



▶スポーツ・インテグリティ強化のための取組

部活動における体罰の根絶

東京都中学校体育連盟及び東京都高等学校体育連盟との連携により、部活動における体罰の根絶を目的として、体罰等の許されない指導とあるべき指導の考え方等に関する講演会や研修会等を計画的に実施します。

スポーツ・インテグリティ研修

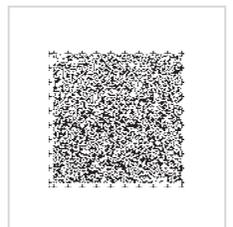
スポーツ・インテグリティの理解促進に向けた研修会等の様々な機会を活用し、不正経理やスポーツ指導における暴力・ハラスメントの防止をはじめとし、違法賭博や違法薬物、ドーピング、八百長等への注意喚起を行うことなどにより、スポーツ・インテグリティの確保に向けた取組を推進します。

スポーツ団体の適正な運営確保

都内区市町村体育・スポーツ協会や競技団体等に対しコンプライアンス研修を実施する等、スポーツ団体の適正な運営確保に向けたガバナンスの強化を推進します。



スポーツ・インテグリティ研修会



2 柱ごとの施策・取組

政策の柱4 スポーツを支える

施策③ 安全・安心なスポーツ、信頼されるスポーツ大会の実現

▶ ガバナンス確保のための取組

国際スポーツ大会におけるガバナンス確保の取組

東京都の「国際スポーツ大会への東京都の関与のガイドライン」や国の「大規模な国際又は国内競技大会の組織委員会等のガバナンス体制等の在り方に関する指針」等を踏まえ、国際スポーツ大会の運営組織が、スポーツの根幹であるフェアネスを体現した信頼されるものとなり、未来の東京につながるレガシーを残していくとともに、都民と共に大会を作り上げ、大会開催の意義が社会に広がっていくよう、国際スポーツ大会におけるガバナンス確保の取組を進めていきます。

▶ 関連ページ

P.199

